

市民意識調査結果報告書【概要版】

根室市市民意識調査からみた根室市の定住環境について

平成27年8月7日

根室市市民意識調査の結果からみた根室市の定住環境について

1. 根室市市民意識調査の概要

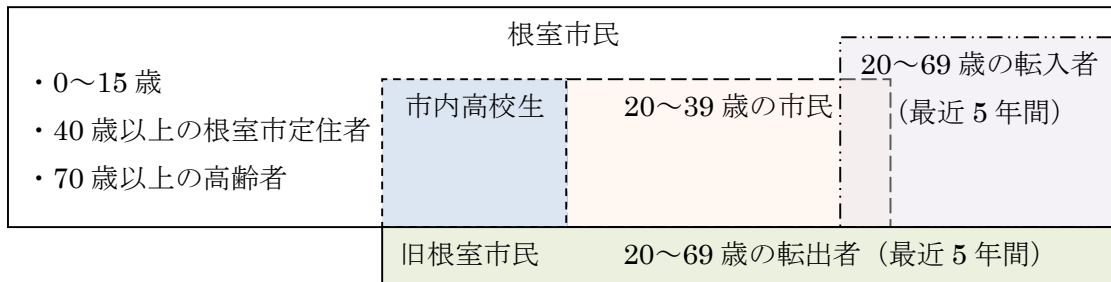
アンケート調査の種類	対象	調査方法	有効配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)
結婚・出産・子育てに関するアンケート	20歳～39歳までの根室市民	郵送配布・郵送回収	1,982	436	22.0%
転入者アンケート	最近5年間に根室市に転入してきた20歳～69歳までの市民		993	323	32.5%
転出者アンケート	最近5年間に根室市から転出した20歳～69歳までの元市民		1,901	662	34.8%
進路・定住アンケート	根室市内2高校の全生徒	各高校配布回収を依頼	644	604	93.8%

	高校名	対象数
進路・定住アンケート 調査対象の内訳	根室高校	1年生:153人 2年生:186人 3年生:195人 計:534人
	根室西高校	1年生:21人 2年生:46人 3年生:43人 計:110人

2. 市民意識調査の対象と意識調査で把握するポイント

区分	対象者	ポイント
本調査の対象	高校生	< 高校生の定住・帰住率向上に向けた課題把握 > ・ 高校生の進路と定住、移住動向 ・ 進学希望者の根室市への帰住意向と課題 ・ 就職希望者の根室市での就業見通しと課題 ・ 高校生の将来における根室市での定住課題
	20～39歳の根室市民	< 根室市の出生率向上に向けた課題把握 > ・ 婚姻率の向上に向けた課題 ・ 出生数の増加に向けた出産・子育て環境の課題
	20～69歳の転入者	< 根室市における移住促進に向けた課題把握 > ・ 根室市における社会動態・転入要因把握 ・ Iターン・定住促進に向けた課題 ・ Uターン・定住促進に向けた課題
	20～69歳の転出者	< 根室市の定住促進に向けた課題把握 > ・ 根室市における社会動態・転出要因把握 ・ 根室市出身者の定住促進に向けた課題把握 ・ Iターン・定住促進を阻害する要因把握 ・ Uターン・定住促進に向けた課題
本調査の対象外	・ 0～15歳の年少者 ・ 40歳以上の根室市定住者 ・ 70歳以上の高齢者	・ 0～15歳の年少者については、保護者が調査対象 ・ 定住者が望むまちづくりに関しては、本調査の対象者の意向に準じるものとする。 ・ 70歳以上の高齢者については、社会動態が少ないとともに、他調査における定年後の動向に準じるものとする。

市民意識調査の対象範囲



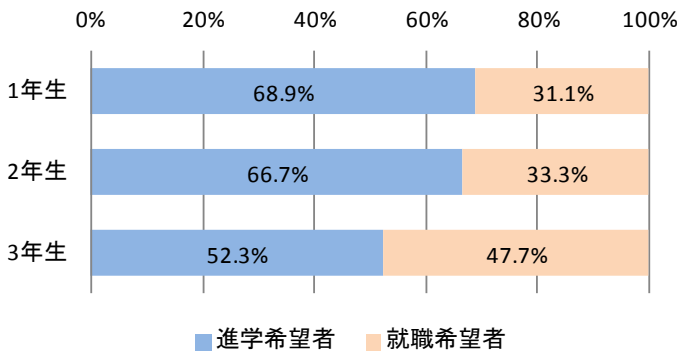
3. 調査結果の概要

3.1 高校生

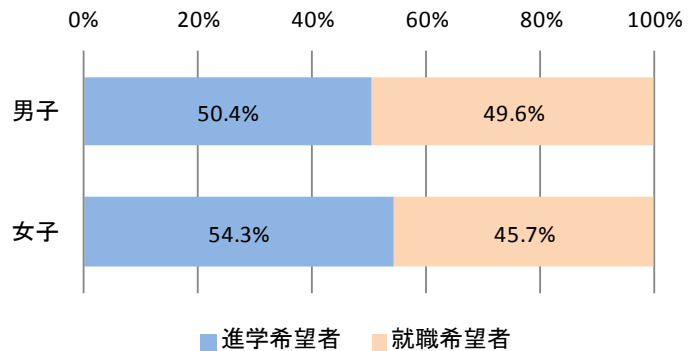
(1) 進路

- ・1,2年生の進学希望率は7割弱だが、進路を目前に控えている3年生では、5割強であり、就職希望者の割合が増加している。
- ・女子の方が進学希望率は高い。

学年別、進学・就職希望者構成



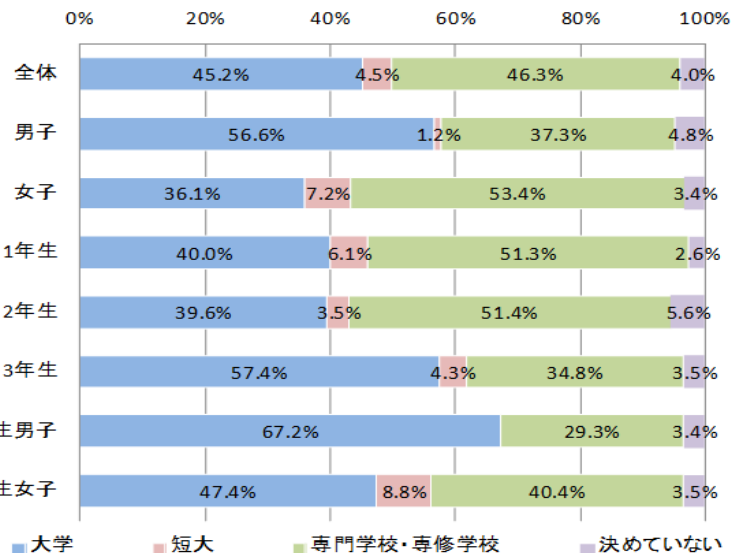
3年生の男女別、進学・就職希望者構成



(2) 進学希望者の進学先、卒業後の希望就職先

- ・男子は大学、女子は専門学校・専修学校等の希望が多い。

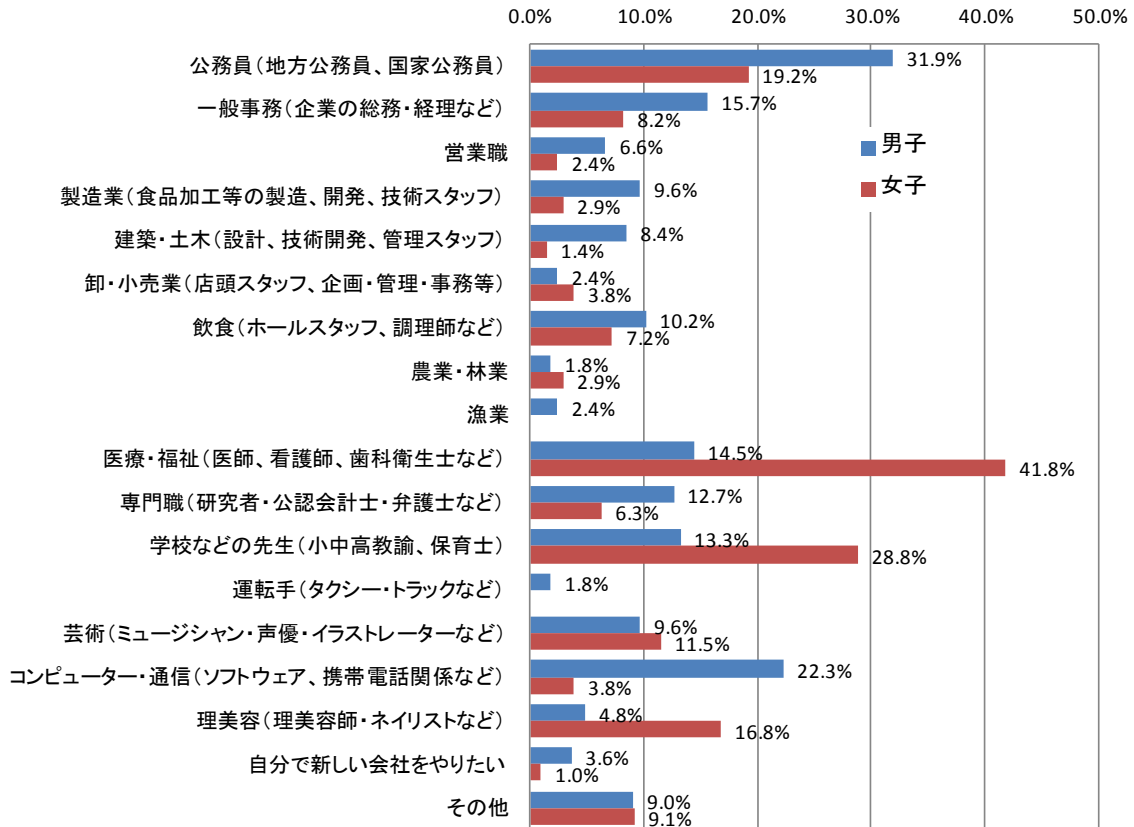
希望の進学先



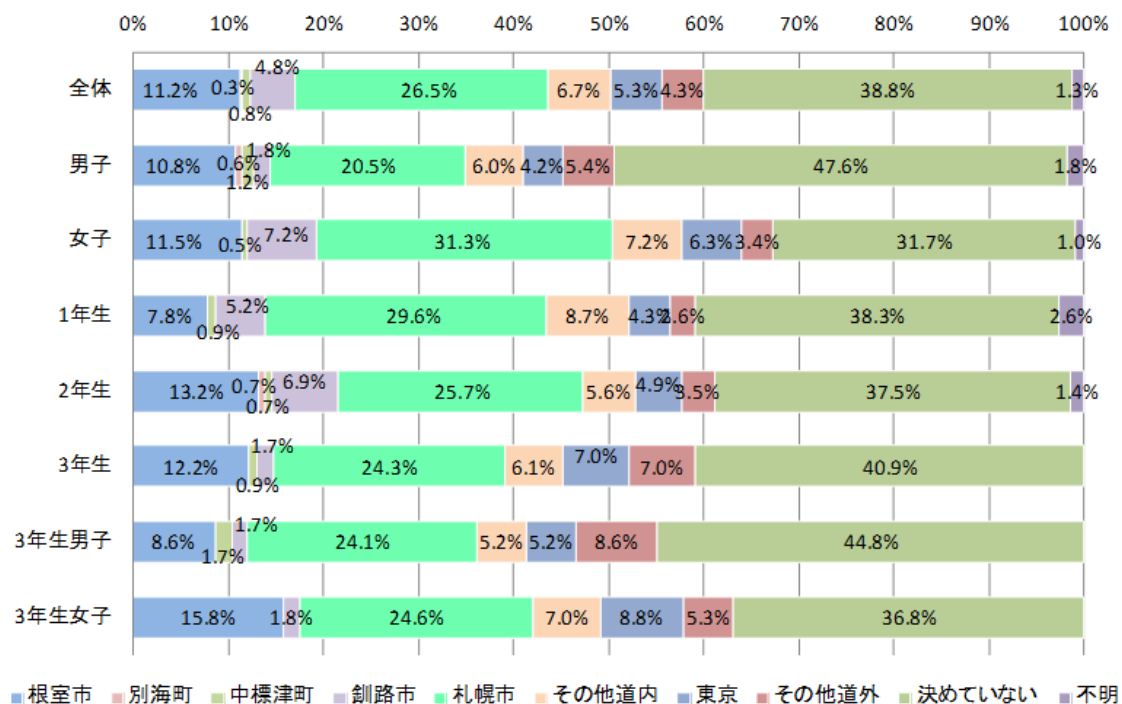
高校生【進路・定住】意識調査

- ・進学希望者の将来の希望職業は、男子では公務員、コンピュータ・通信関連、女子では医療・福祉関連、学校などの先生が多い。
- ・特に、女子の医療・福祉関連への希望者が多いことは医療従事者の高齢化に課題を有する根室市にとって注目すべき点と考える。
- ・ただし、希望の就業場所を根室市としている生徒は1割程度にとどまっている。

将来の希望職業(複数回答)

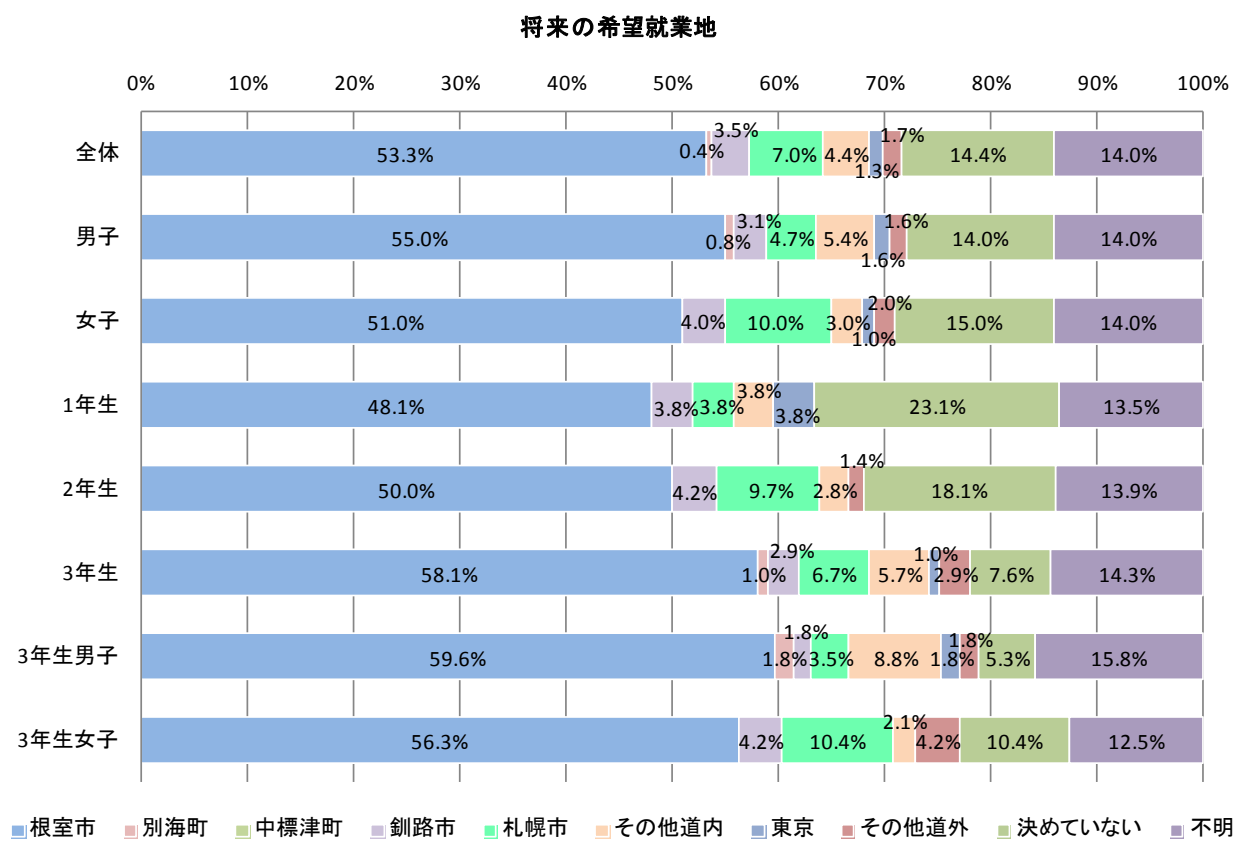
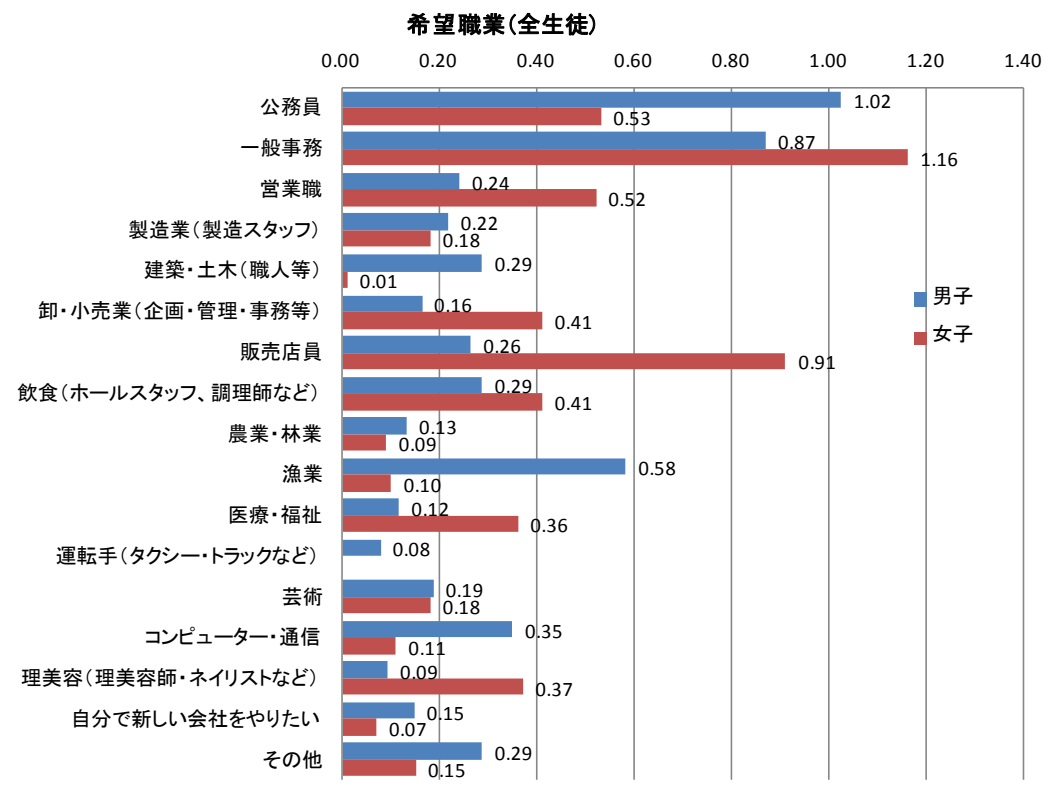


将来の希望就業地

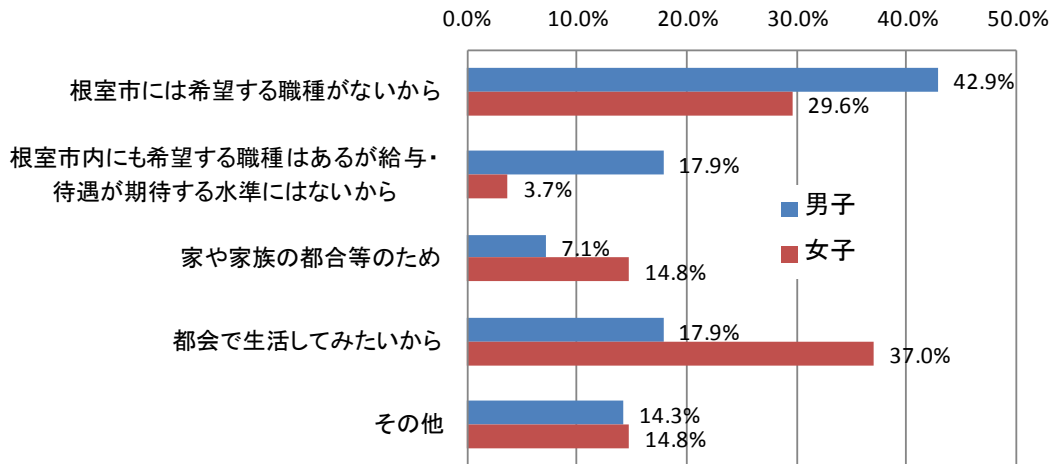


(3) 就職希望者の就職希望先

- ・男子は公務員、一般事務、漁業、女子は一般事務、販売店員、公務員を希望する生徒が多い。
- ・男女ともに根室市内での就職希望者が多く、特に3年生でその傾向が強い。
- ・加えて、市外を就職希望地としている生徒の中には、根室市に希望する職種がない、待遇等が希望と合わないといった理由もみられることから、潜在的な根室市での就業希望者はさらに多いものと考えられる。



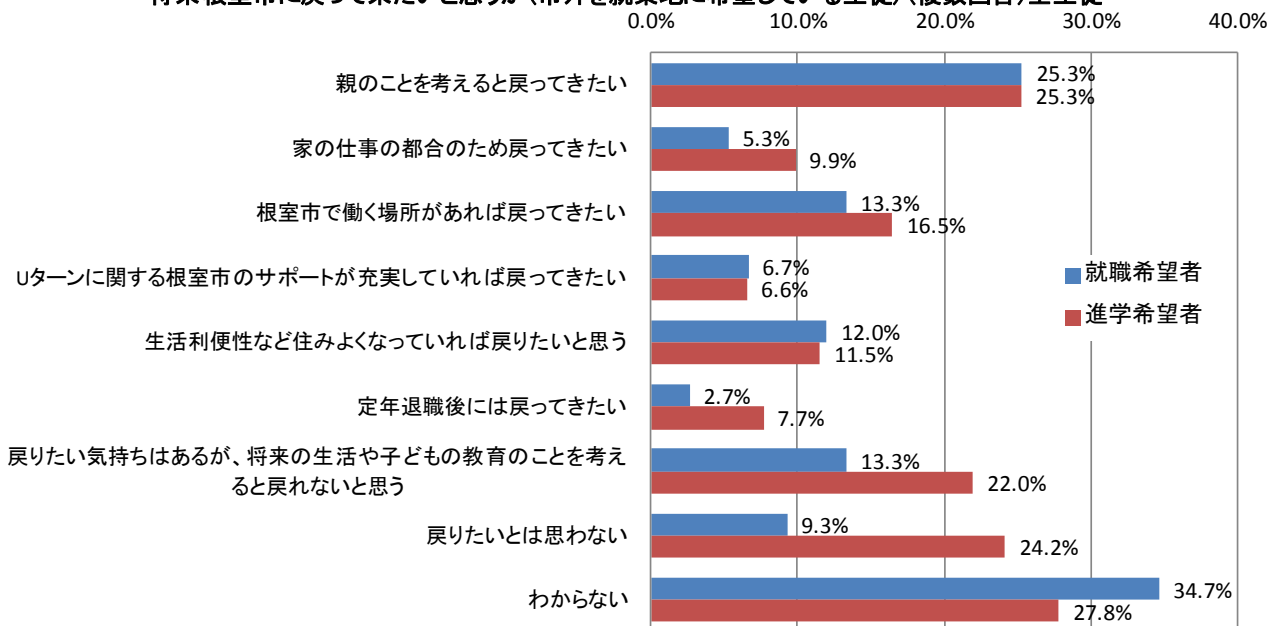
根室市以外で就職を希望する理由(全体)



(4) 根室市への帰住意向

- ・将来、根室市外で就職した後、いずれは根室市に帰住したいかどうかの意向についてみると、現時点では「わからない」とする生徒が多いものの、「親のことを考えると戻って来たい」、「働く場所があれば戻って来たい」という意向を持っている生徒が多い。
- ・この傾向は、進学希望者よりも就職希望者の方が強い。

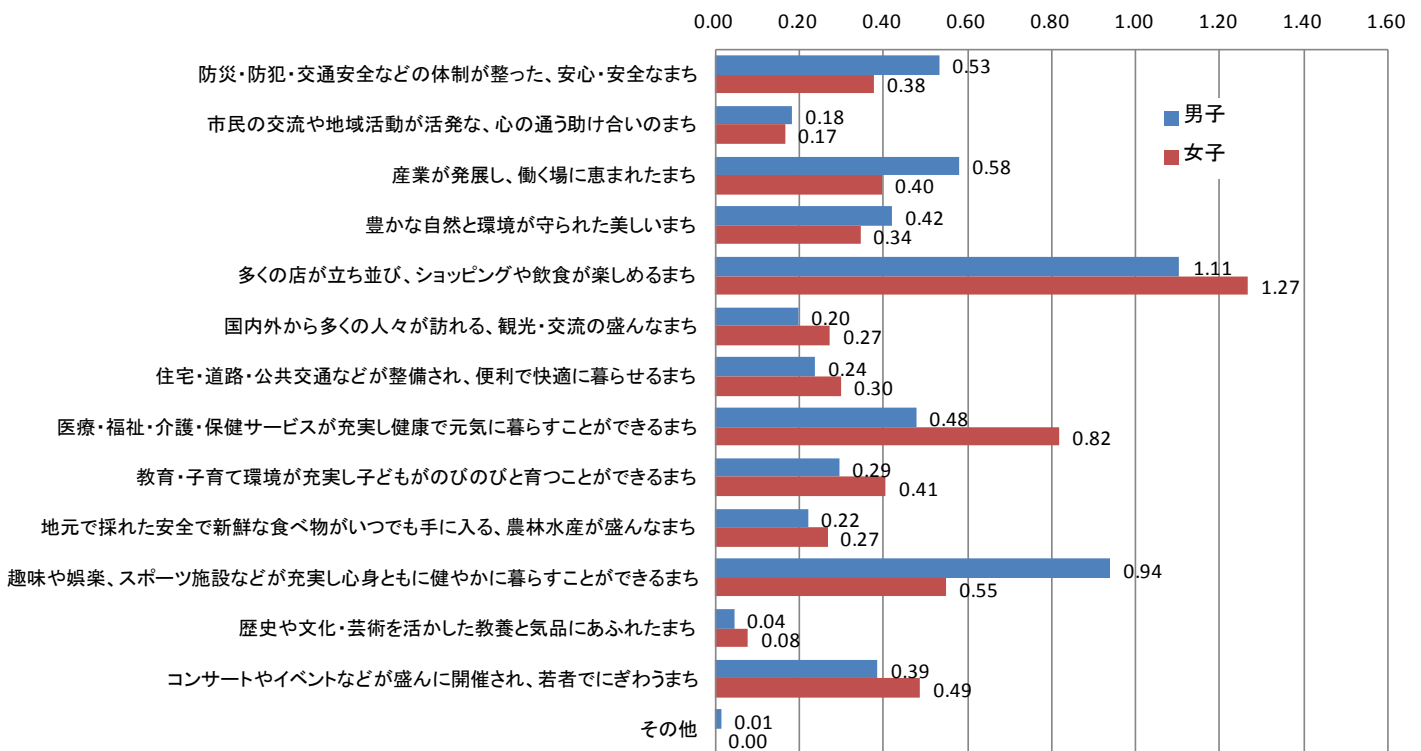
将来根室市に戻って来たいと思うか(市外を就業地に希望している生徒)(複数回答)全生徒



(5) 将来の根室市の姿

- ・男女ともに最も望まれている姿は「多くの店が立ち並び、ショッピングや飲食が楽しめるまち」。
- ・次いで、男子は「趣味や娯楽、スポーツ施設などが充実し、心身ともに健やかに暮らすことができるまち」、女子は「医療・福祉・介護・保健サービスが充実し、健康で元気に暮らすことができるまち」。
- ・この姿は、現在、高校生が根室市の嫌いなところを改善してほしいという意向の現れであると同時に、女子の医療・福祉関連に対する意識の高さは特筆される。

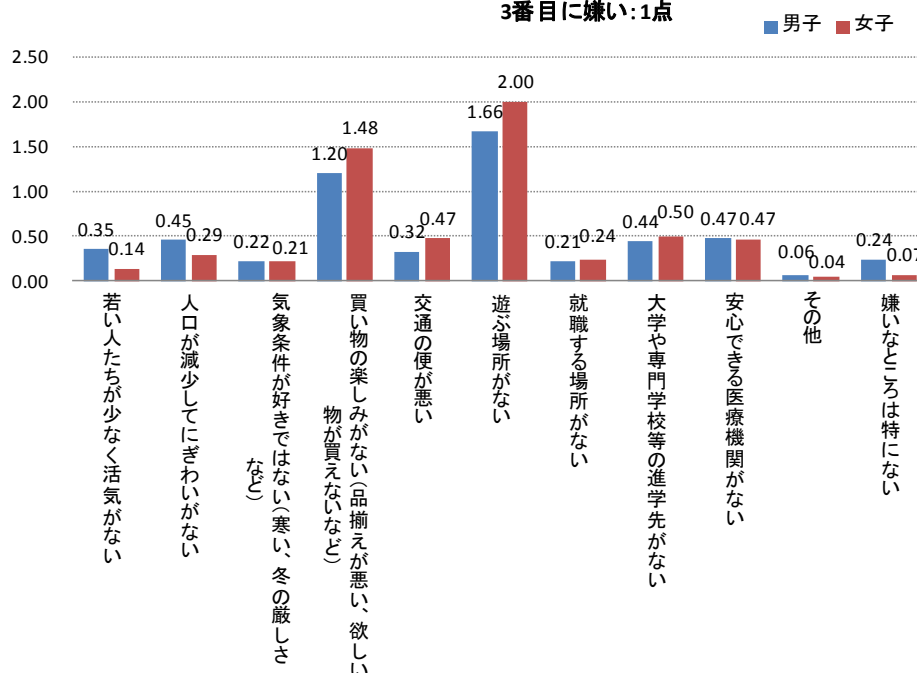
将来に望む根室市の姿(全体)(平均得点)



(参考)

根室市の嫌いなところ(平均得点)【性別】

1番目に嫌い:3点
2番目に嫌い:2点
3番目に嫌い:1点

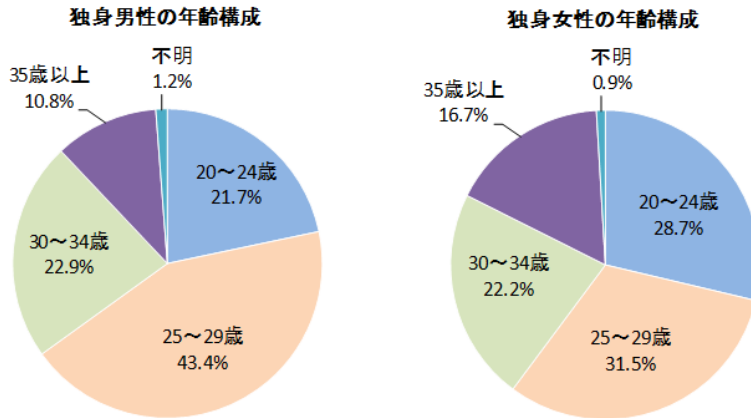


3. 2 20～39歳の根室市民（結婚・出産・子育て環境に関するアンケート調査結果）

（1）独身者の結婚環境の現状

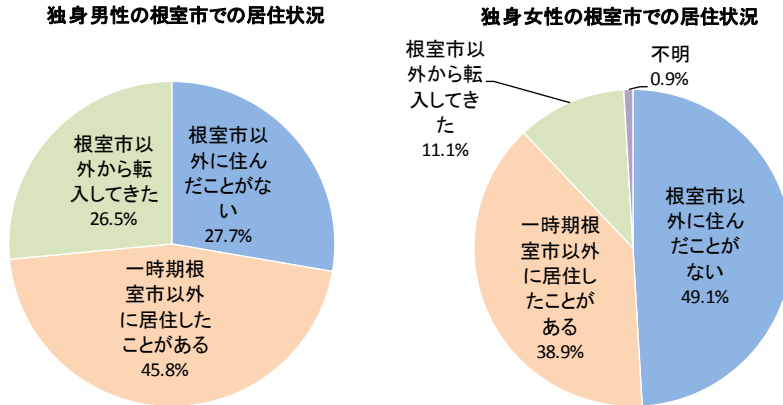
①独身者の年齢

- ・回答者の性別年齢構成は、独身男性では、25～29歳が最も多く、次いで30～34歳、独身女性では、25～29歳が最も多く、次いで、20～24歳となっている。



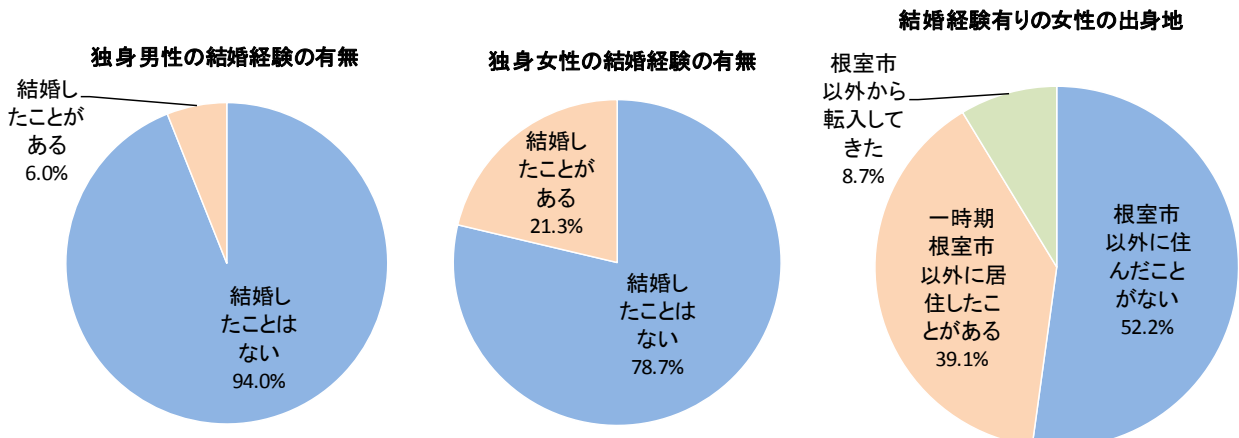
②独身者の出身地

- ・男性は一時市外で居住した方も含めて根室市出身者が73.5%、女性は、88.0%が根室市出身者であり、女性の方が根室市出身者の割合が高い。
- ・進学や就職、転勤等の都合で一時期根室市外に居住し、再び根室市に居住している人の割合は、男性が45.8%、女性が38.9%と多い。



③結婚経験

- ・結婚経験者の割合は女性で高くなっており、そのうちの4割が一時期根室市外で居住し、離婚等により根室市に戻ってきているという状況となっている。



④独身でいる理由

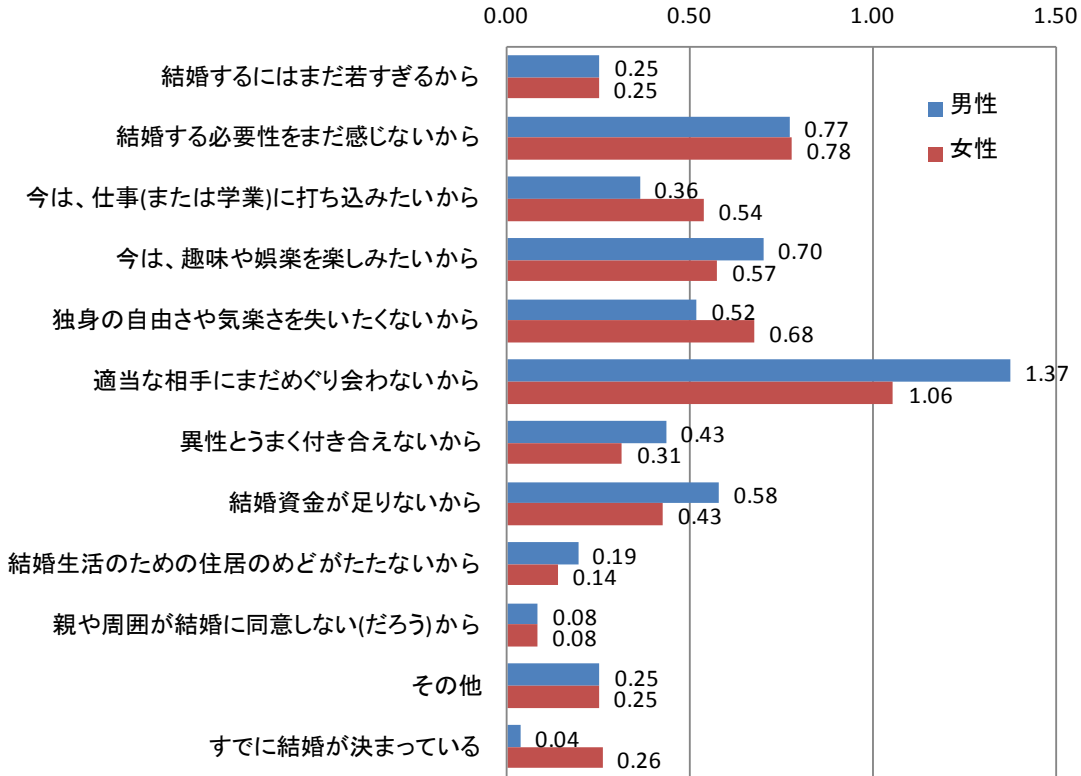
・独身でいる理由は、男女ともに「適当な相手にまだめぐり会わないから」が最も多い。

独身でいる理由(平均得点)

最大の理由:3点

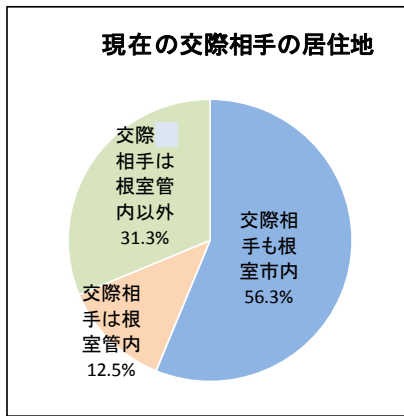
2番目の理由:2点

3番目の理由:1点

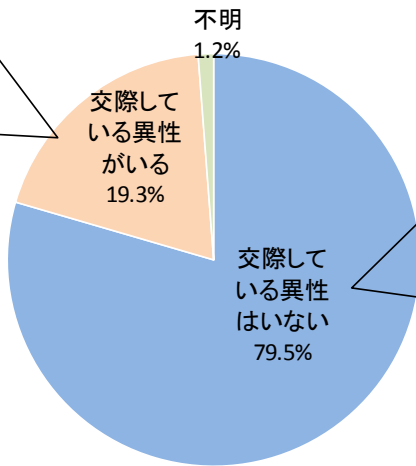


⑤異性との交際状況と交際支援について

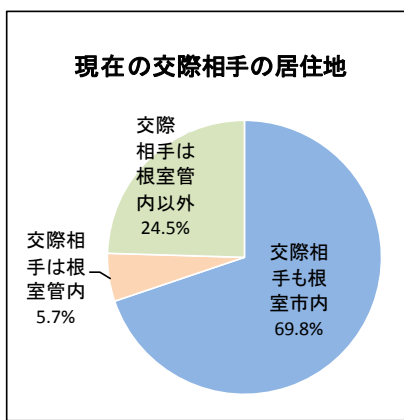
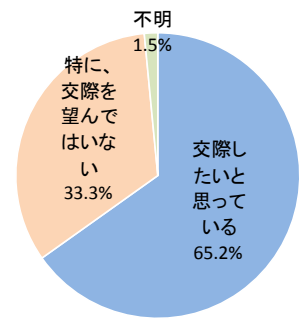
- ・現在、交際相手がないとする割合は、特に男性で高く 79.5%を占めている。そのうち、65.2%が、異性との交際を希望している状況が把握された。
- ・交際を希望している独身者が希望する出会い支援としては、男女ともに「街コンやお見合いパーティ等の出会いイベント」が最も多くなっており、特に、男性では7割近くが希望している状況となっている。



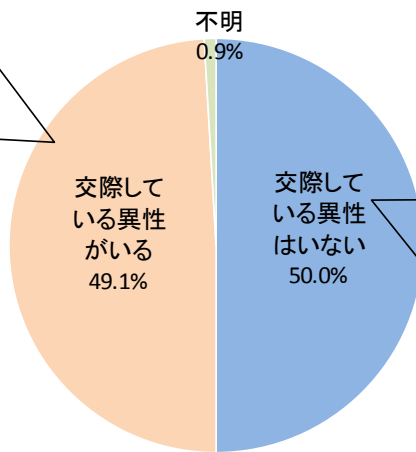
独身男性の現在の異性との交際状況



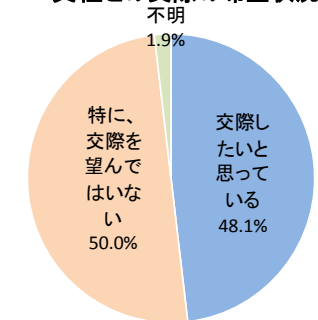
異性との交際の希望状況



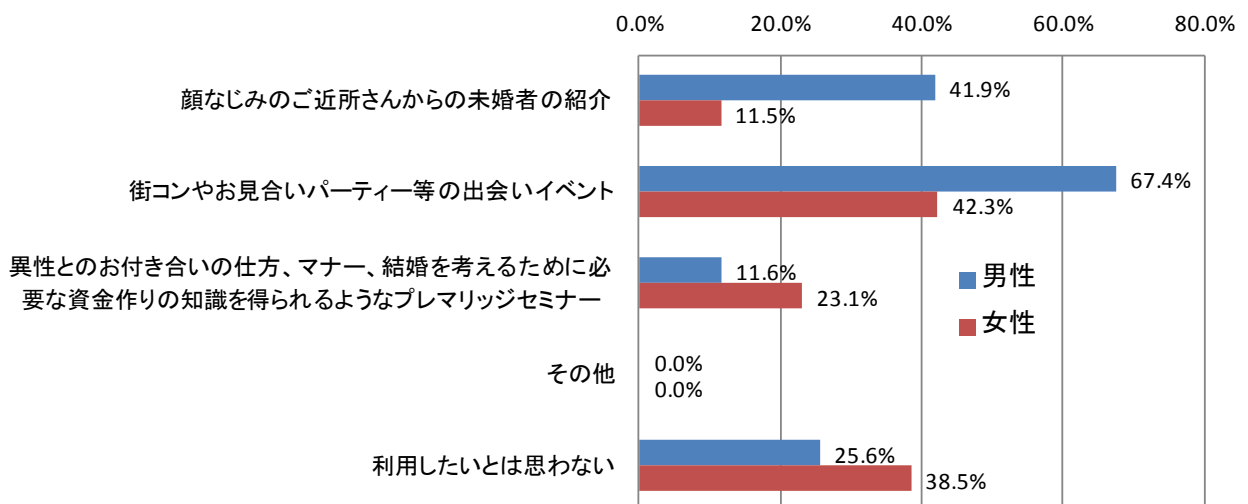
独身女性の現在の異性との交際状況



異性との交際の希望状況



希望する交際支援

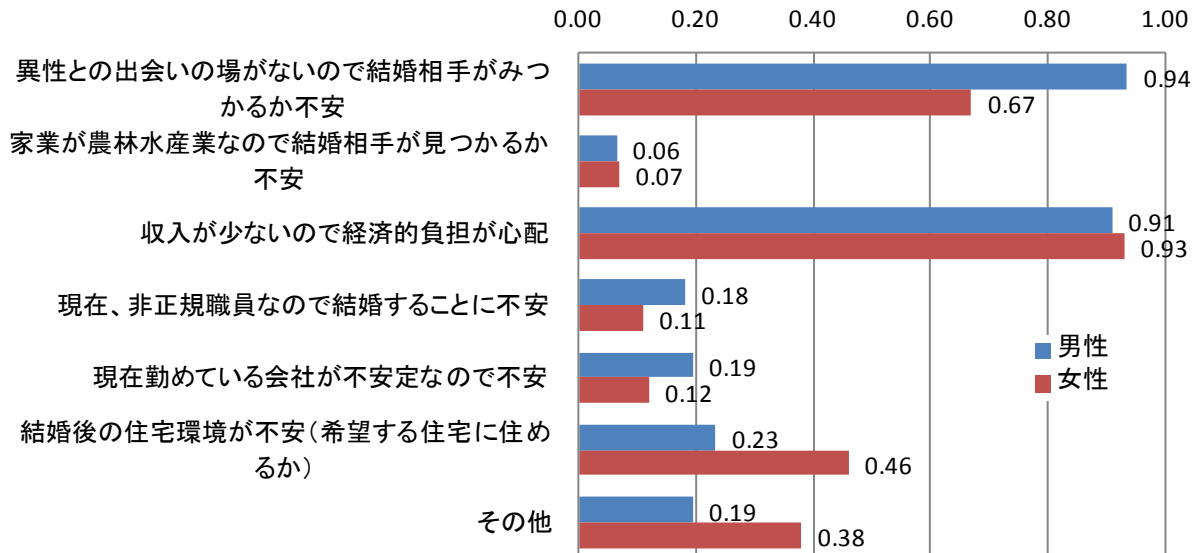


⑥根室市内での結婚に対して不安に思うこと

- ・不安に思うこととして「異性との出会いの場がないので結婚相手がみつかるか不安」、「収入が少ないので経済的負担が心配」が上位にあげられている。
- ・「その他」の具体的不安としては、市内で出産ができないことに対する不安があげられている。

根室市での結婚に関して不安に感じていること(平均得点)

最大の不安:2点
2番目の不安:1点

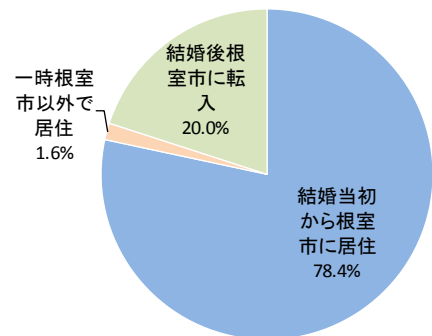


(2) 出産・子育て環境について(既婚者のアンケート調査結果より)

①出身地

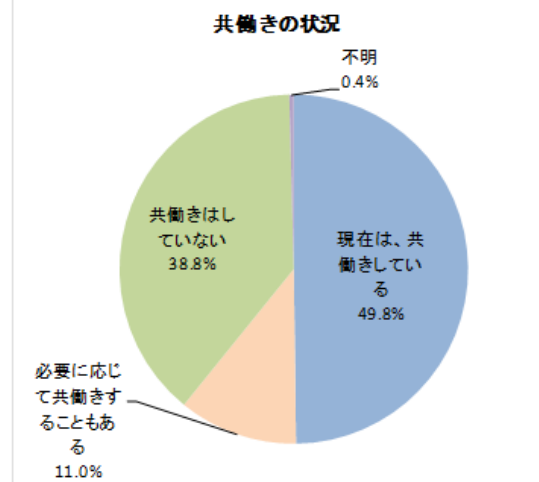
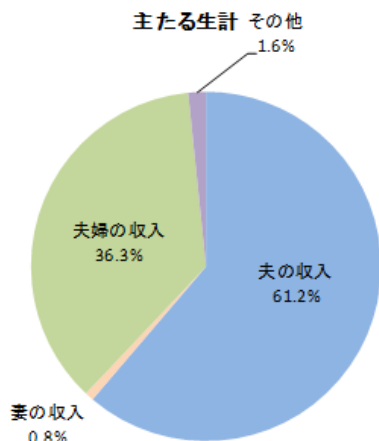
- ・78.4%が結婚当初から根室市で居住しており、結婚後に転勤等で転入してきたとする割合は20.0%となっている。

既婚者の結婚後の根室市での居住状況



②主たる生計及び共働きの状況

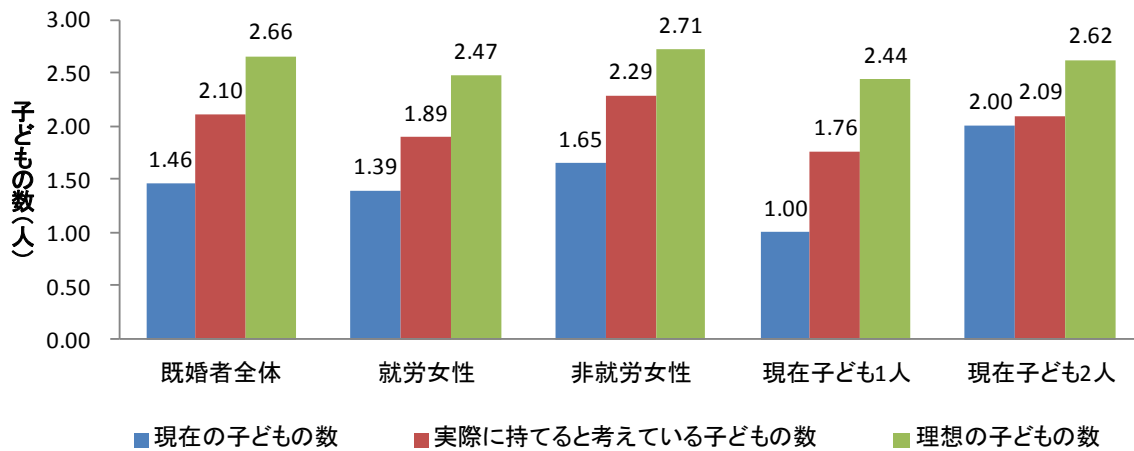
- ・既婚者の主たる生計は夫で61.2%となっている半面、夫婦の収入との回答も36.3%となっている。
- また、共働きの状況を見ると、半数が共働きとなっている。



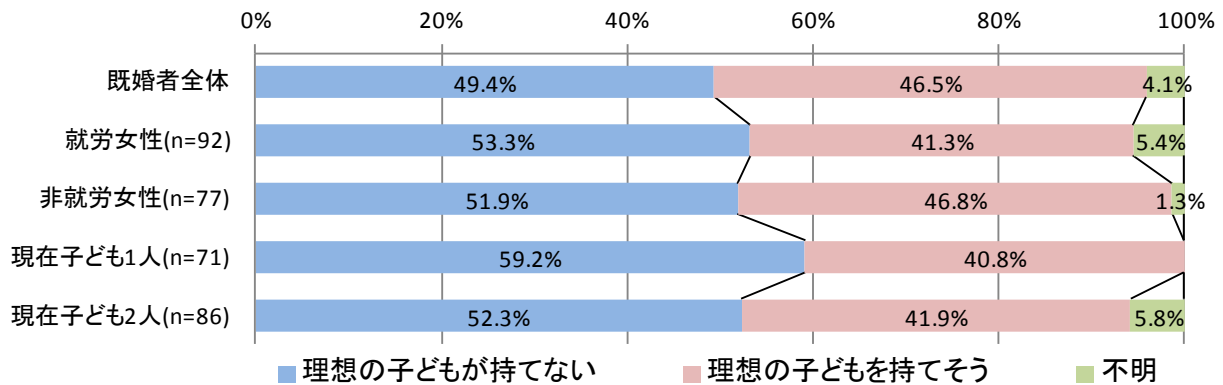
③子どもの数について（理想と現実）

- ・既婚者全体では、理想の子ども数は、2.66人。これに対して、現在の子ども数の平均は1.46人、実際に持てると考えている子ども数の平均は2.10人。
- ・現在、就労している女性と就労していない女性の回答では、理想の子ども数、実際に持てると考えている子ども数、現在の子ども数のいずれも非就労女性の方が上回っている。
- ・また、現在の子ども数が1人と2人の既婚者で比較すると、実際に持てると考えている子ども数、理想の子ども数ともに、現在2人の既婚者の方が上回っている。
- ・理想の子ども数を持たないとの回答割合は、概ね約半数となっているが、就労女性、及びすでに1人の子どもを有しているところでは、ややこの割合が高い傾向となっており、出産、子育て面で不安が大きい状況がうかがえる。

子どもの数に対する認識



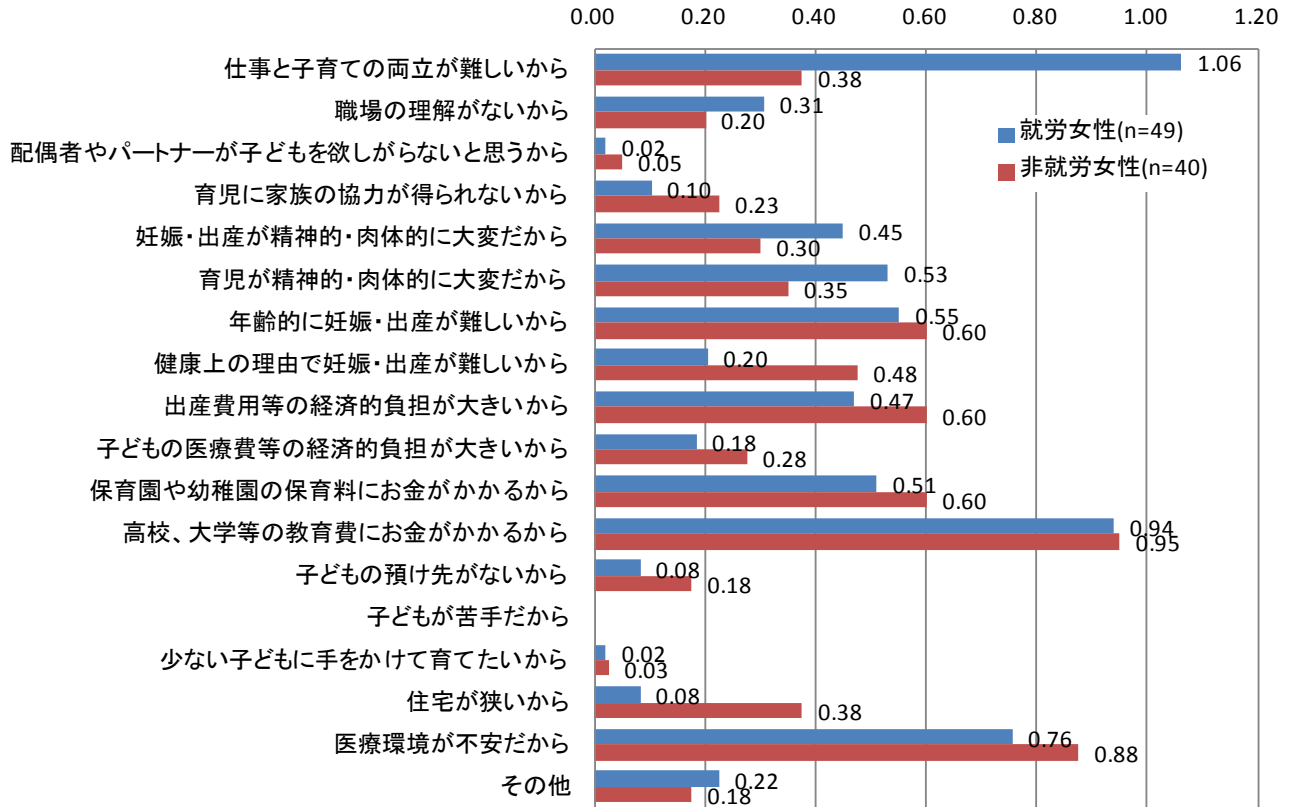
理想の子ども数を持てるか



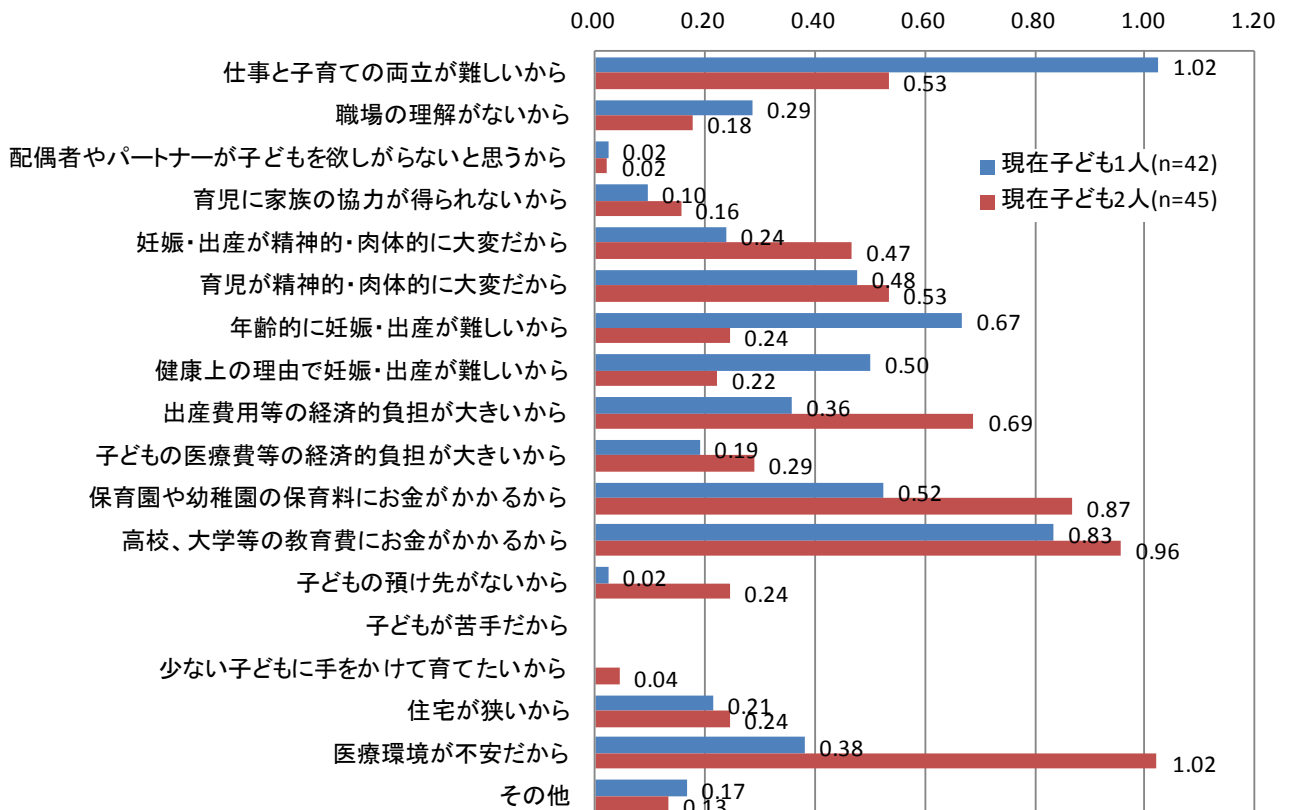
④理想の子ども数を持たないと考える理由

- ・既婚者全体では、「高校、大学等の教育費にお金がかかるから」が最も大きく、次いで、「医療環境が不安だから」、「仕事と子育ての両立が難しいから」、「出産費等の経済的負担が大きいから」の順。
- ・就労女性と非就労女性を比較すると、医療環境に対する不安のほかに、就労女性では体力面、経済面での理由が、非就労女性では経済面での理由が大きい状況となっている。
- ・現在の子ども数による比較では、2人のところは、根室市内で出産できないことへの不安の他に、経済的理由が、1人のところは、妻が就労している世帯が多いことから、「仕事との両立が難しい」などの体力面での不安が大きい状況がうかがえる。

理想の子ども数を持ってないと考える理由(就労女性と非就労女性)



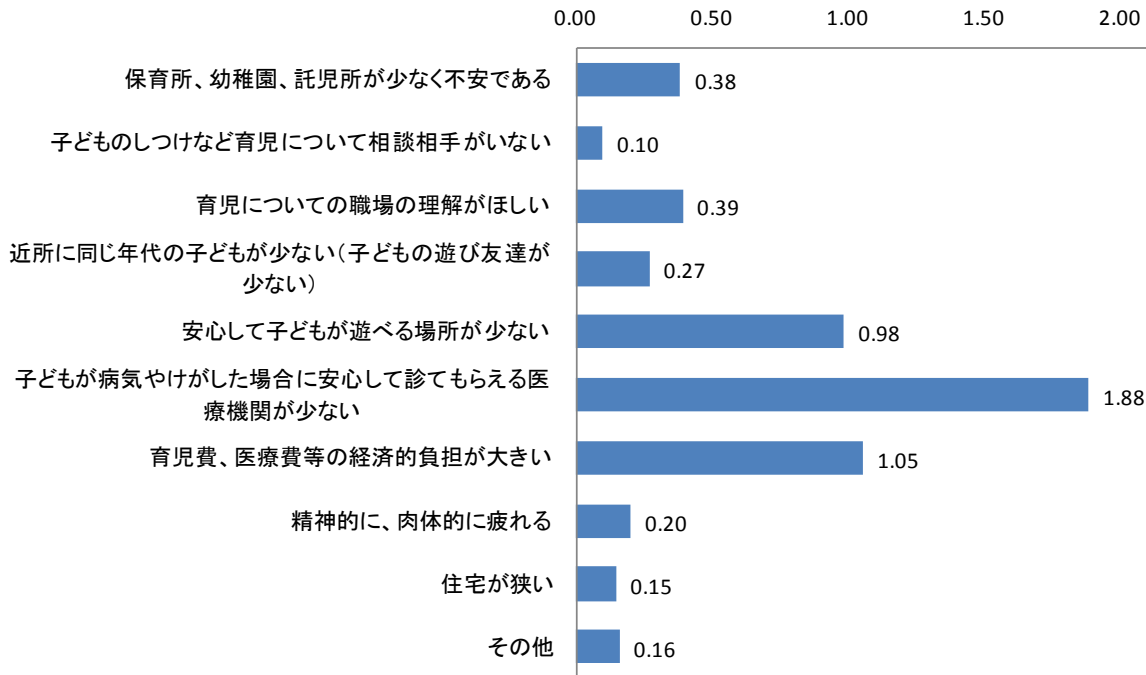
理想の子ども数を持ってないと考える理由(現在の子ども数が1人と2人)



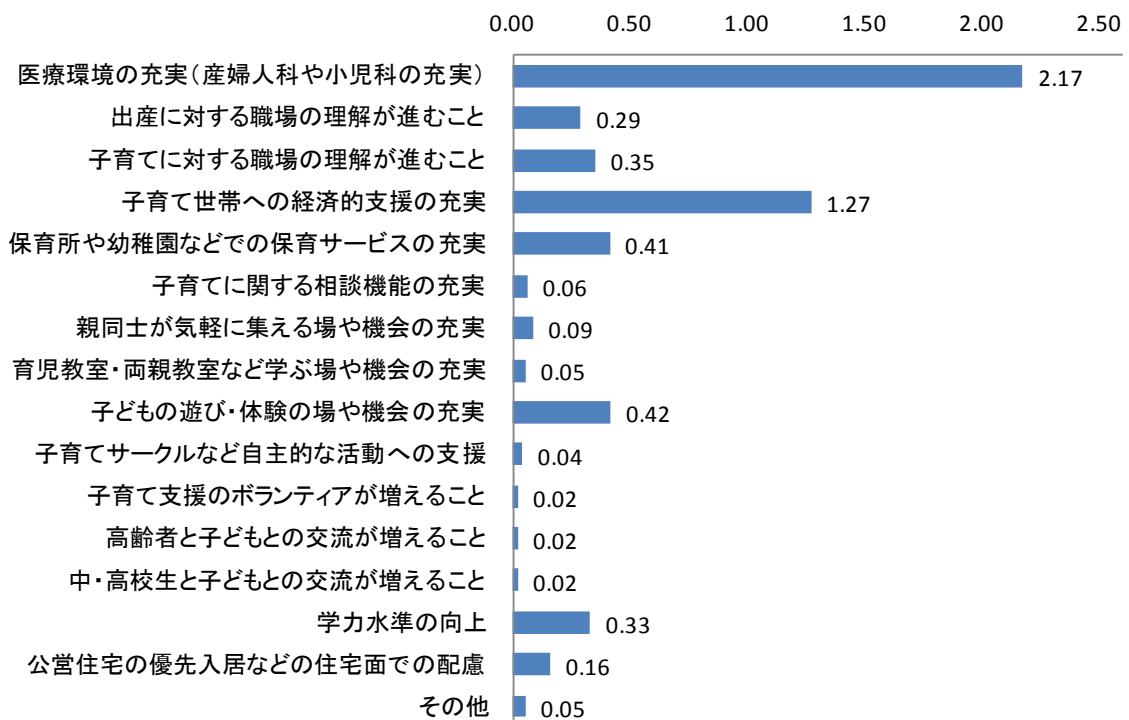
⑤育児環境に対する不安と望まれている支援

- ・育児環境に対する不安では、「子どもが病気やけがした場合に安心して診てもらえる医療機関が少ない」、「育児費、医療費等の経済的負担が大きい」、「安心して子どもが遊べる場所が少ない」が大きいことから、これらに対する支援への要望が大きくなっている。
- ・この結果は、就労女性、非就労女性、現在の子どもの数の違いでもほぼ同様となっているが、現在の子どもの数が2人のところでは、「育児費、医療費等の経済的負担が大きい」が特に大きい結果となっている。

根室市の育児環境で不安と感じていること(既婚者全体)(得点換算)



出産、子育てに関して望まれている支援(既婚者全体)(得点換算)

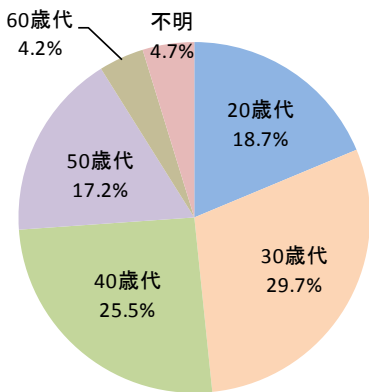


3.3 20～69歳の転入者（転入者アンケート調査）

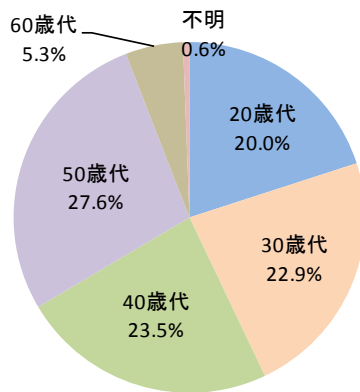
（1）転入者の内訳

- ・男女の割合は男性が52.6%とやや多い程度。
- ・転入者の年齢構成は、各年代層に分散しており、特定の年代層への偏りはない。
- ・転入者の7割弱が初めて根室で住むことになった方々であり、男性の単身赴任者の割合が高い。残りの3割強の多くは根室市出身者でUターン者（一部、再度転勤等で戻ってきた方もいる）。
- ・特に、20歳代の女性では、進学で転出した方のUターン者の割合が高い。

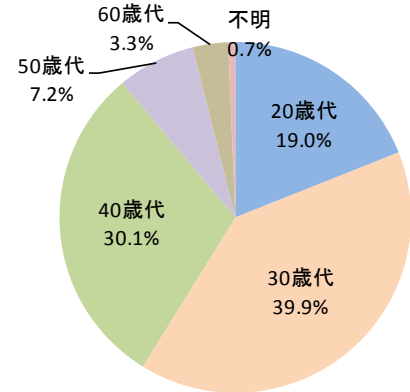
回答者の年齢構成(全体)



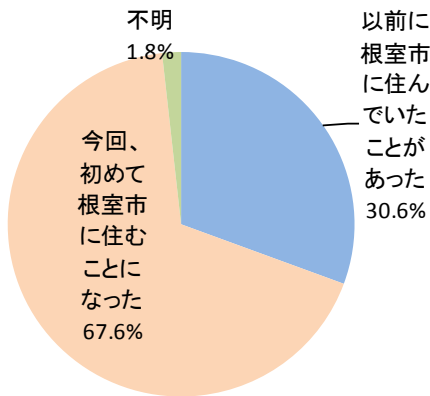
回答者の年齢構成(男性)



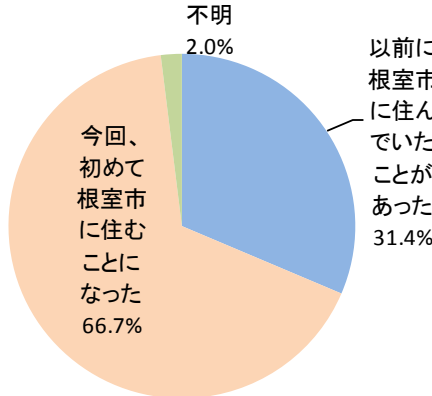
回答者の年齢構成(女性)



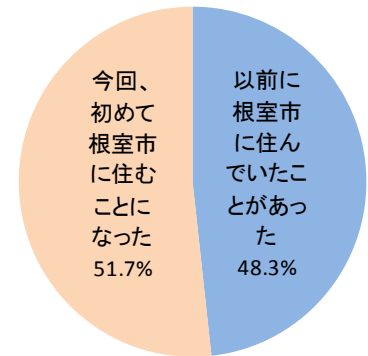
根室市での居住経験(男性)



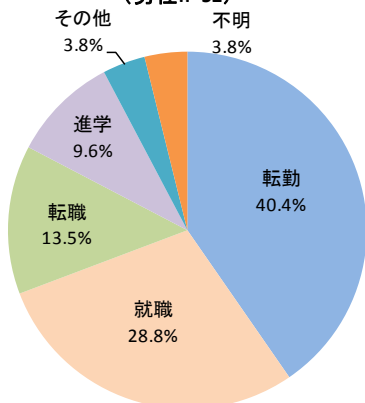
根室市での居住経験(女性)



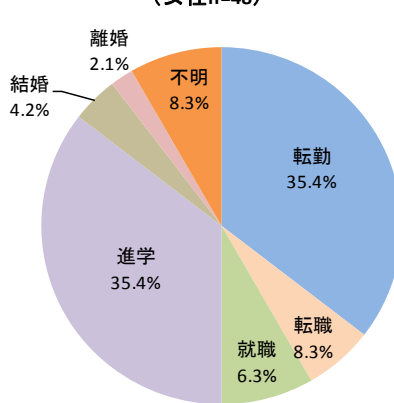
根室市での居住経験(20歳代女性)



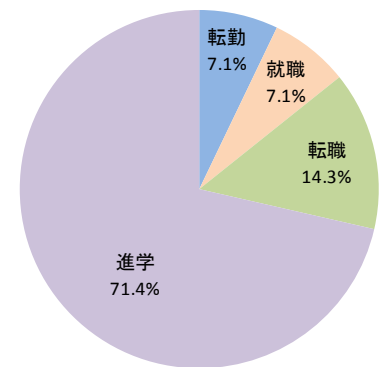
以前に根室市で居住していた時の転出理由
(男性n=52)



以前に根室市で居住していた時の転出理由
(女性n=48)



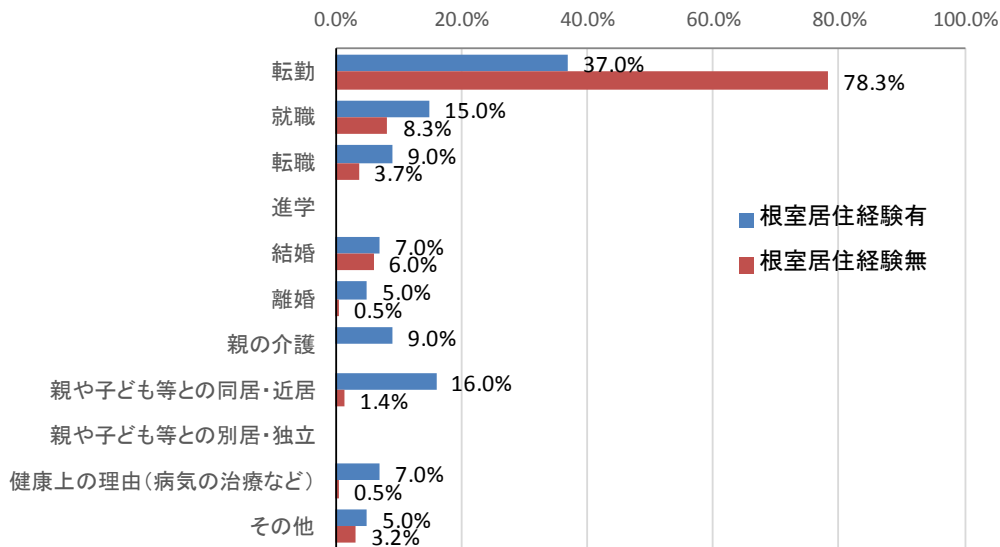
以前に根室市で居住していた時の転出理由
(20歳代女性n=14)



(2) 転入の理由

- ・根室市での居住経験のない転入者の78.3%が転勤。
- ・以前に根室市で居住していた転入者は、転勤が最も多いものの37.0%にとどまっており、これに次いで、親や子ども等との同居・近居、就職。
- ・なお、以前に進学で根室を転出した20歳代女性10人のうち、4人が就職、3人が結婚となっている（他、離婚、親の介護、親との同居）。

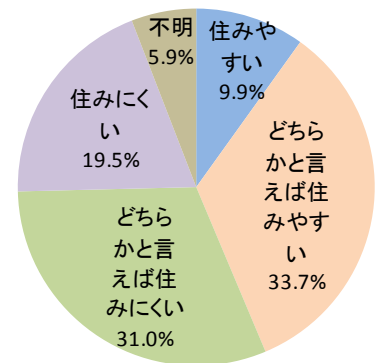
転入きっかけ(根室市での居住経験有無別)



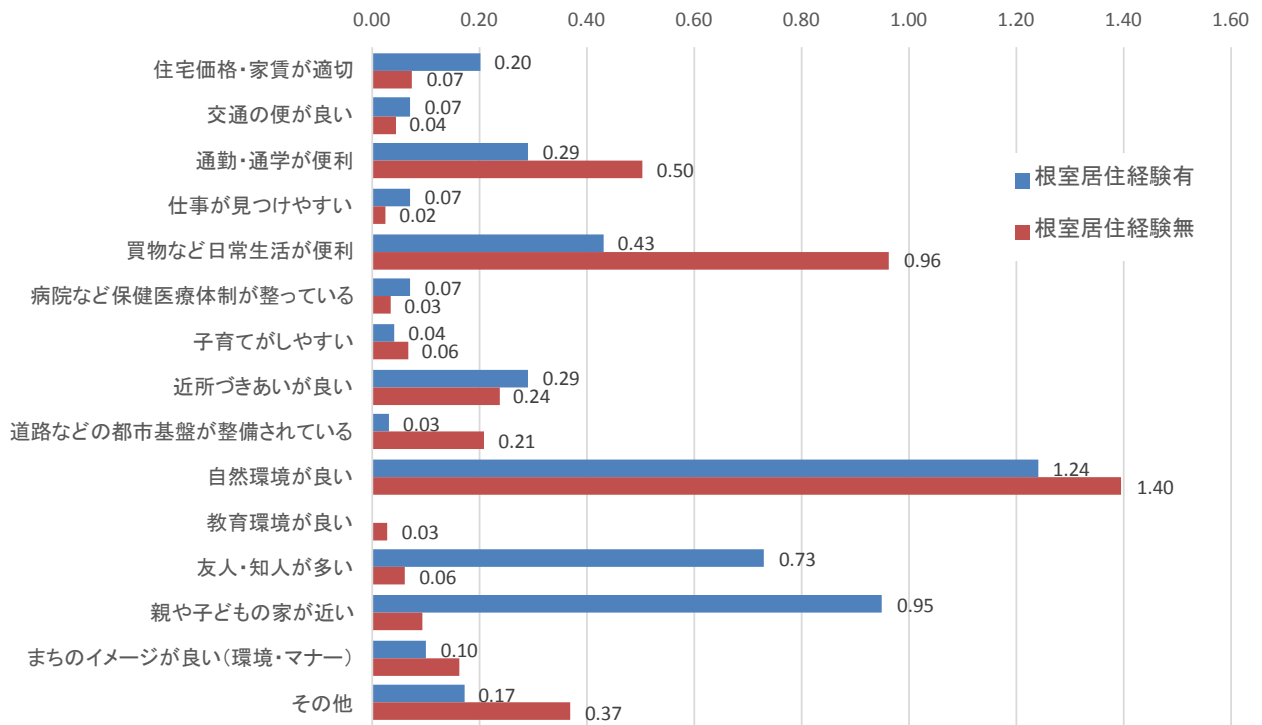
(3) 根室市の住みよさについて

- ・転入者による根室市の住みやすさに対する評価をみると、全体では、「どちらかと言えば住みやすい」を含めて、「住みよい」という評価が4割強。
- ・性別、根室市での居住経験の有無にかかわらず同様の傾向であるが、20歳代女性ではやや厳しい評価。
- ・住みやすいところについて、根室市内での居住経験がある人とそうでない人の別でみると、「自然環境が良い」に次いで、居住経験のない転入者では、「買い物など日常生活が便利」、「通勤・通学が便利」が上位であることに対し、居住経験のある転入者では、根室出身者が多いことを反映して「親や子どもの家が近い」「友人・知人が多い」が上位となっている。
- ・住みにくいところについて、根室市での居住経験の有無別でみると、「病院など保健医療体制が整っていない」、「交通の便が悪い」、「買い物など日常生活が不便」、「住宅価格・家賃が高い」が共に大きくなっているが、居住経験のある転入者では、さらに「仕事が見つからない」も大きくなっている。

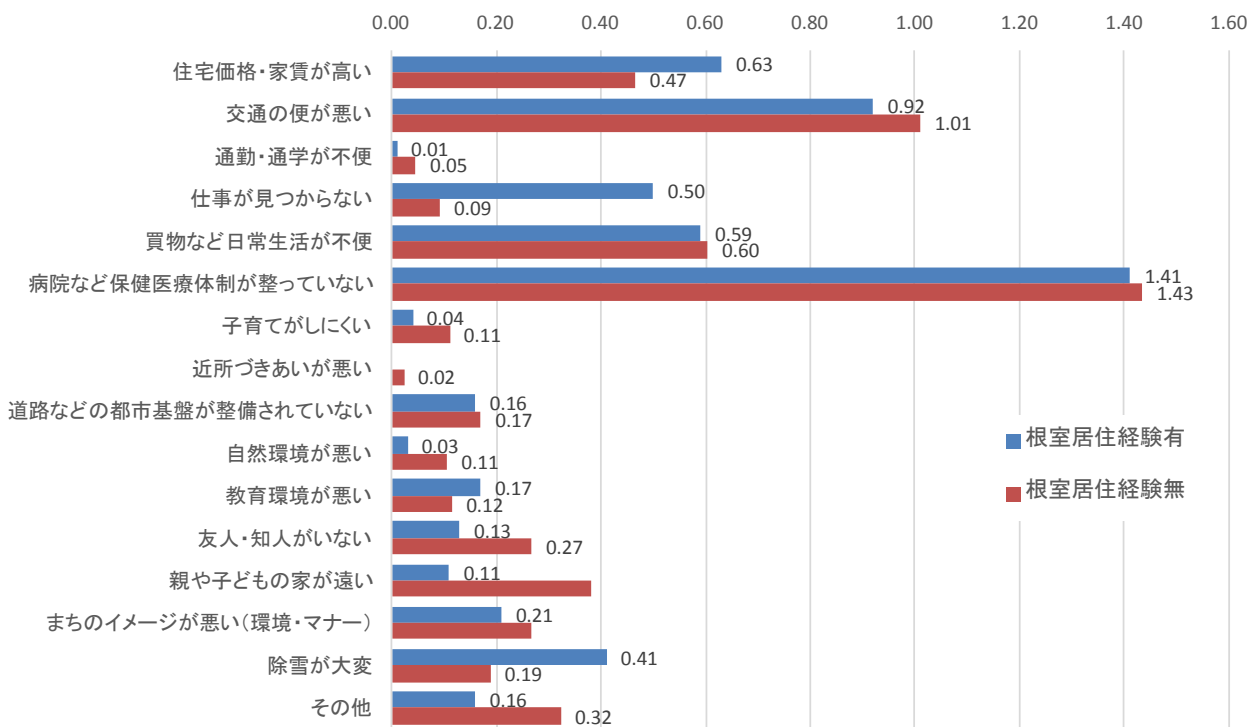
根室市の住みよさ評価
転入者全体(n=323)



根室市の住みやすいと感じるところ(根室市居住経験有無別)(平均得点)



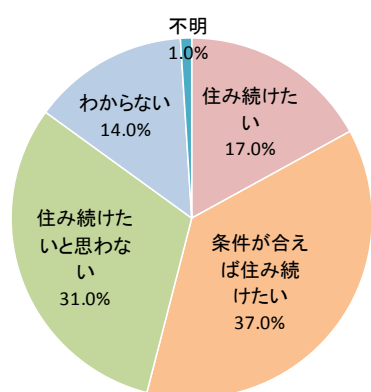
根室市の住みにくいところ(根室市居住経験有無別)(平均得点)



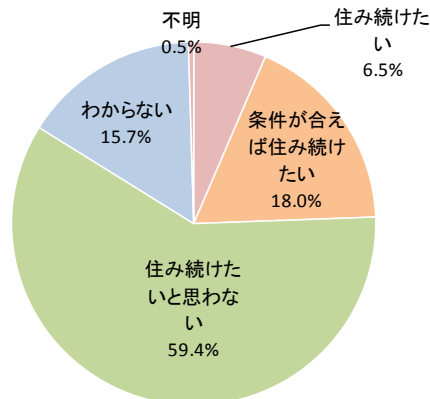
(4) 根室市での定住意向

- ・性別では大きな差がみられなかったが、根室市での居住経験の有無別でみると、「条件があれば住み続けたい」及び「住み続けたい」とする転入者の割合は、根室市出身者が多く含まれる根室市居住経験者で大きいものの、初めて根室市で居住することになった転入者では、住み続けたいとする割合は、2割強にとどまっている。
- ・20歳代女性についてみると、特に、初めて根室市で居住することになった転入者での評価が厳しくなっている。

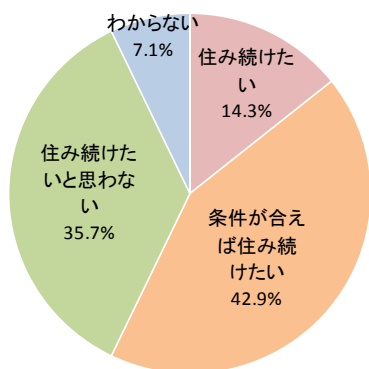
根室市での定住意向
(以前に根室市に住んだことがある転入者)



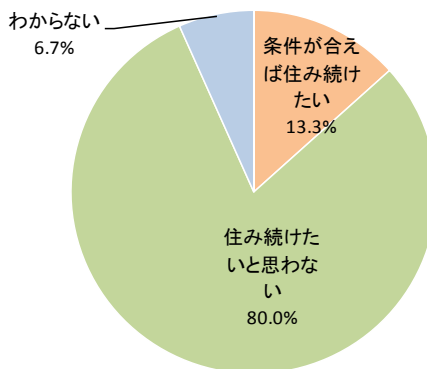
根室市での定住意向
(根室市での居住経験のない転入者)



20歳代女性の根室市での定住意向
(以前に根室市に住んだことがある転入者)



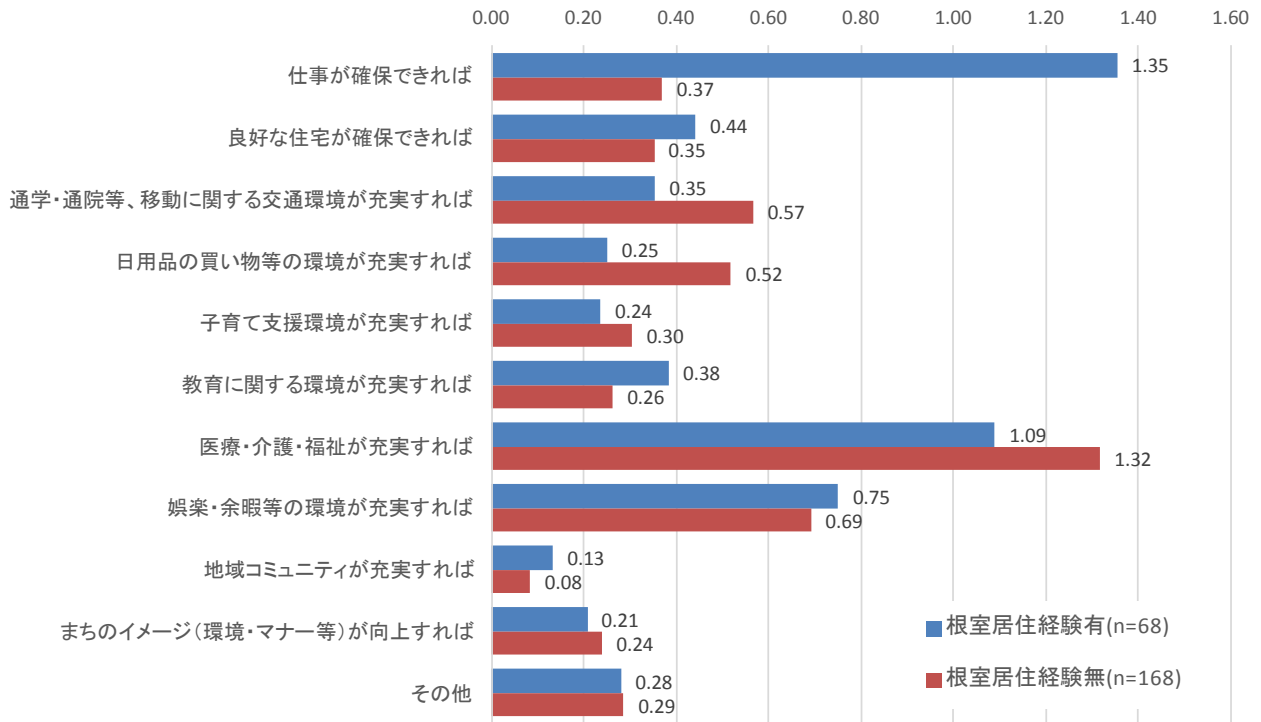
20歳代女性の根室市での定住意向
(根室市での居住経験のない転入者)



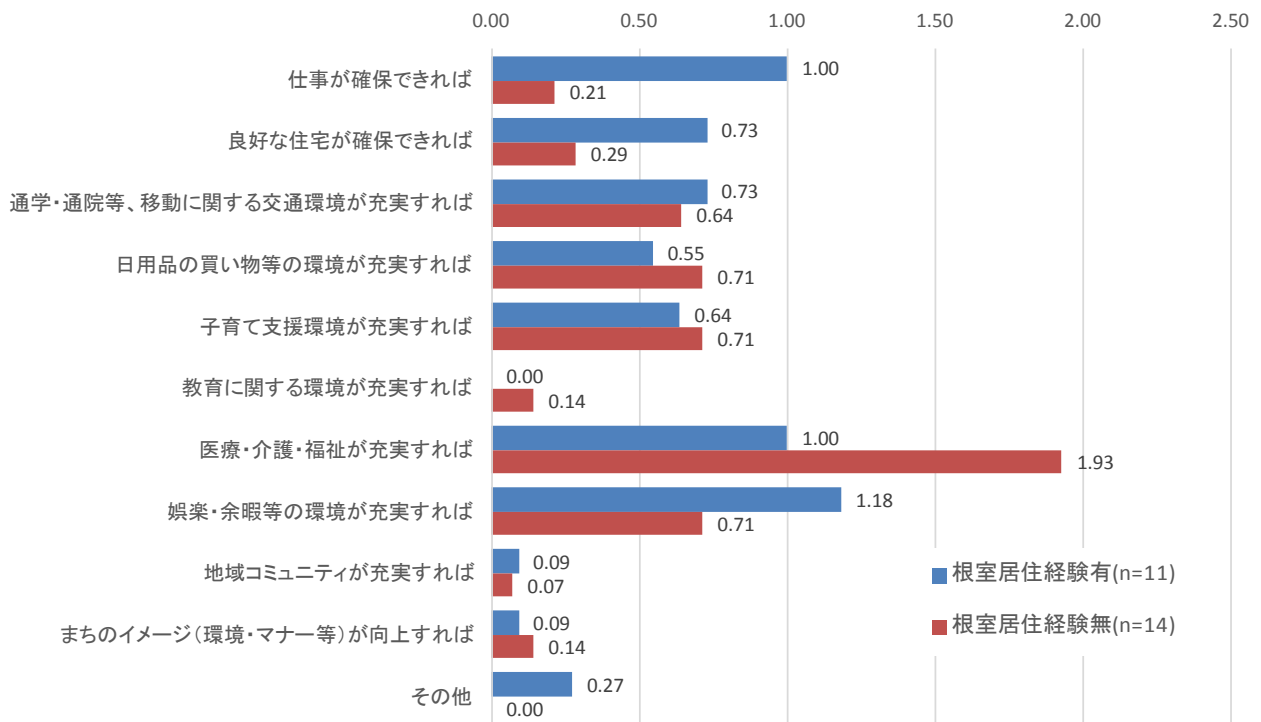
(5) 根室市で住み続けるための条件

- ・根室市での居住経験の有無によって大きな差が見られ、根室市居住経験者では「仕事が確保できれば」も最も多い。次いで、「医療・介護・福祉が充実すれば」、「娯楽・余暇等の環境が充実すれば」となっている。
- ・20歳代女性における条件も、「仕事が確保できれば」で大きな差がみられている。

根室市に住み続けたいと思えるための条件(根室市居住経験有無別)(平均得点)



20歳代女性の根室市に住み続けたいと思えるための条件(平均得点)

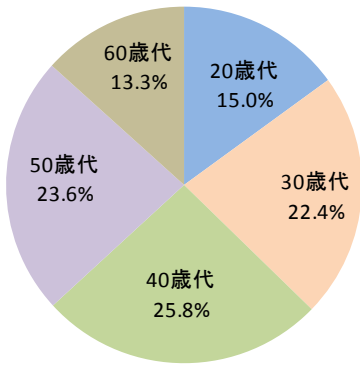


3.4 20～69歳の転出者（転出者アンケート調査）

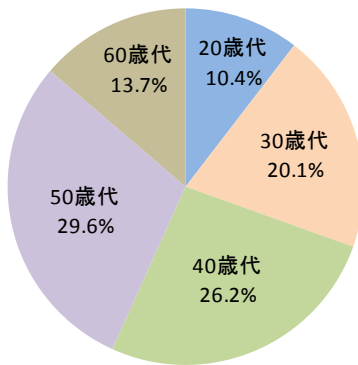
（1）転出者の内訳

- ・転出者の年齢構成は各年代層に分散されているが、転入者に比較して60歳代の割合が高い。
- ・転出者の出身地は、男性では85%が根室市以外の出身者であるが、女性では根室市出身者の割合がやや高く、特に20歳代女性では、根室市出身者が65.5%となっている（ただし、根室市の調査ということで、根室市出身者の回答率が高いなどのバイアスは否定できない）。
- ・根室市以外出身者が以前に根室市に転入した理由は、男性では転勤が83.4%、女性では本人もしくは夫の転勤が64.9%。女性では結婚で転入してきた方の割合も高い。

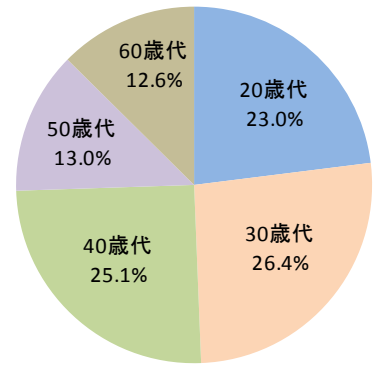
回答者の年齢構成(全体)



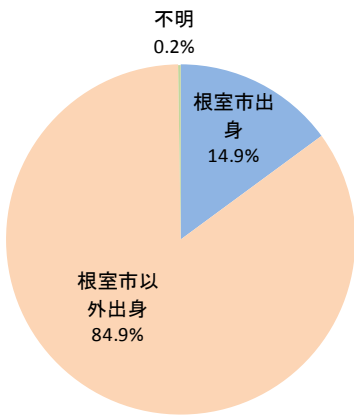
回答者の年齢構成(男性)



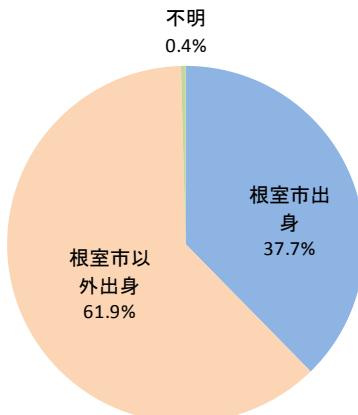
回答者の年齢構成(女性)



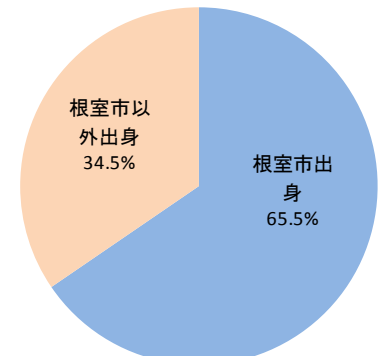
回答者の出身地(男性)(n=423)



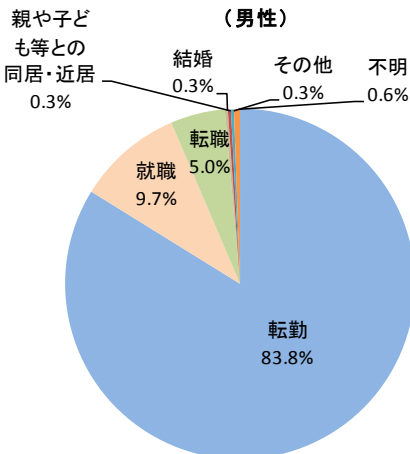
回答者の出身地(女性)(n=239)



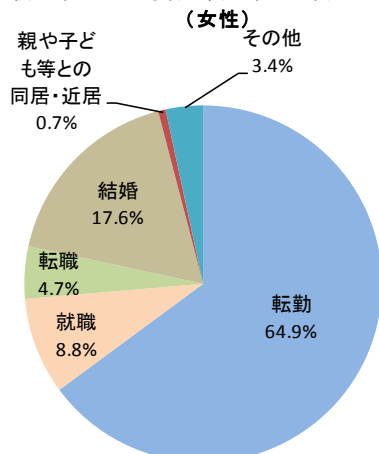
20歳代女性の出身地(n=55)



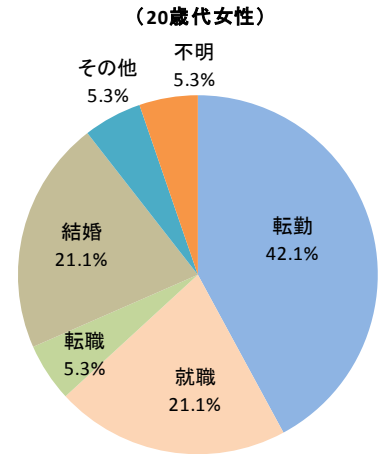
根室市以外出身者の根室市への転入きっかけ(男性)



根室市以外出身者の根室市への転入きっかけ(女性)

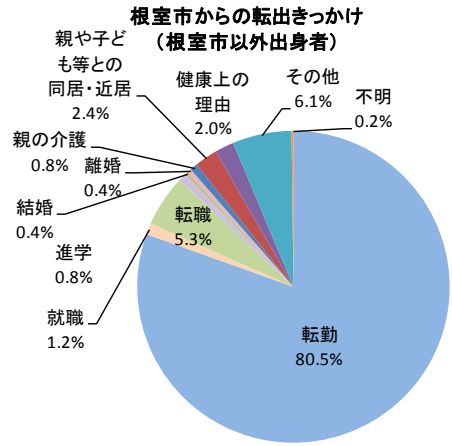


根室市以外出身者の根室市への転入きっかけ(20歳代女性)

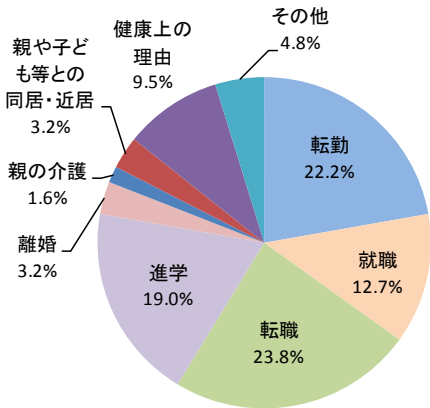


(2) 転出の理由

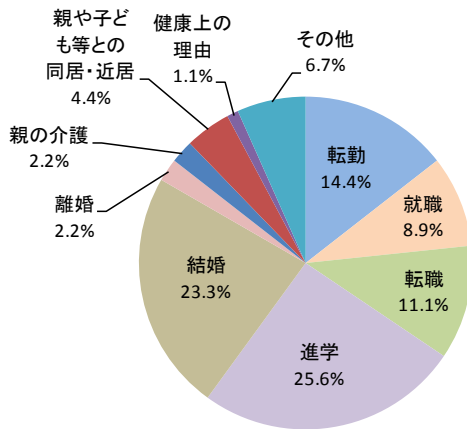
- ・根室市以外出身者は、転勤が80.5%。
- ・根室市出身者は、男性では転職が最も多く、次いで、転勤、進学、就職となっており、女性では、進学が最も多く、次いで、結婚、転勤、転職となっている。
- ・特に、男性では、本人あるいは身内の健康上の理由も1割近くを占めている。
- ・なお、その他としては、男性では定年退職、女性では夫の定年退職が多くなっている。
- ・20歳代女性についてみると、根室市出身者では、進学が最も多く、52.8%を占めており、次いで結婚となっている。



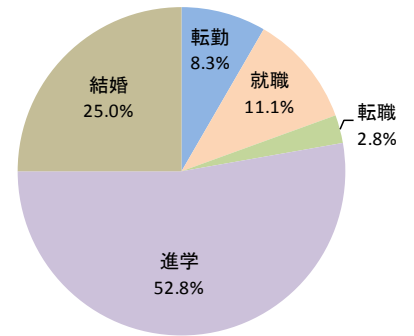
根室市出身者の転出きっかけ(男性)



根室市出身者の転出きっかけ(女性)



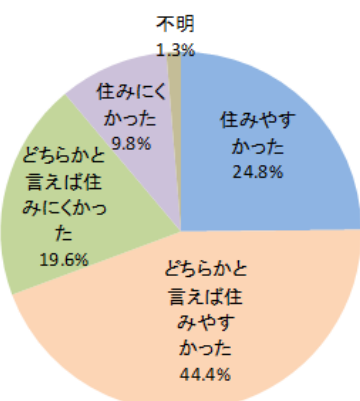
20歳代女性の根室市からの転出きっかけ (根室市出身者)



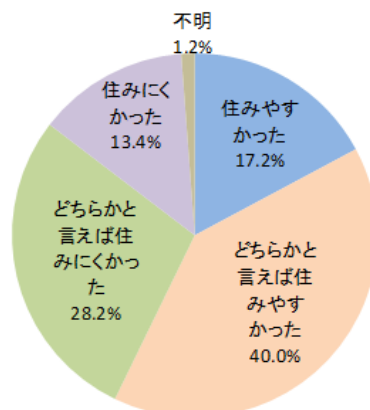
(3) 根室市の住みよさについて

- ・根室市の住みよさについては、根室市出身者も、根室市以外出身者も総じて好評価で6割弱。
- ・住みやすかったことについては、根室市出身者では友人・知人や親や子ども、近所づきあいといった人的繋がりがあげられていることに対し、根室市以外出身者では、自然環境、買い物、通勤等の利便性が上位にあげられているなど、出身地によって評価内容が異なっている。
- ・なお、根室市以外出身者で買い物、通勤等の利便性評価が高いのは、市街地がコンパクトであるということに対する評価となっている。
- ・住みにくかったところについては、根室市出身者では「病院など保健医療体制が整っていない」、「交通の便が悪い」に次いで、「仕事がみつからない」となっている。

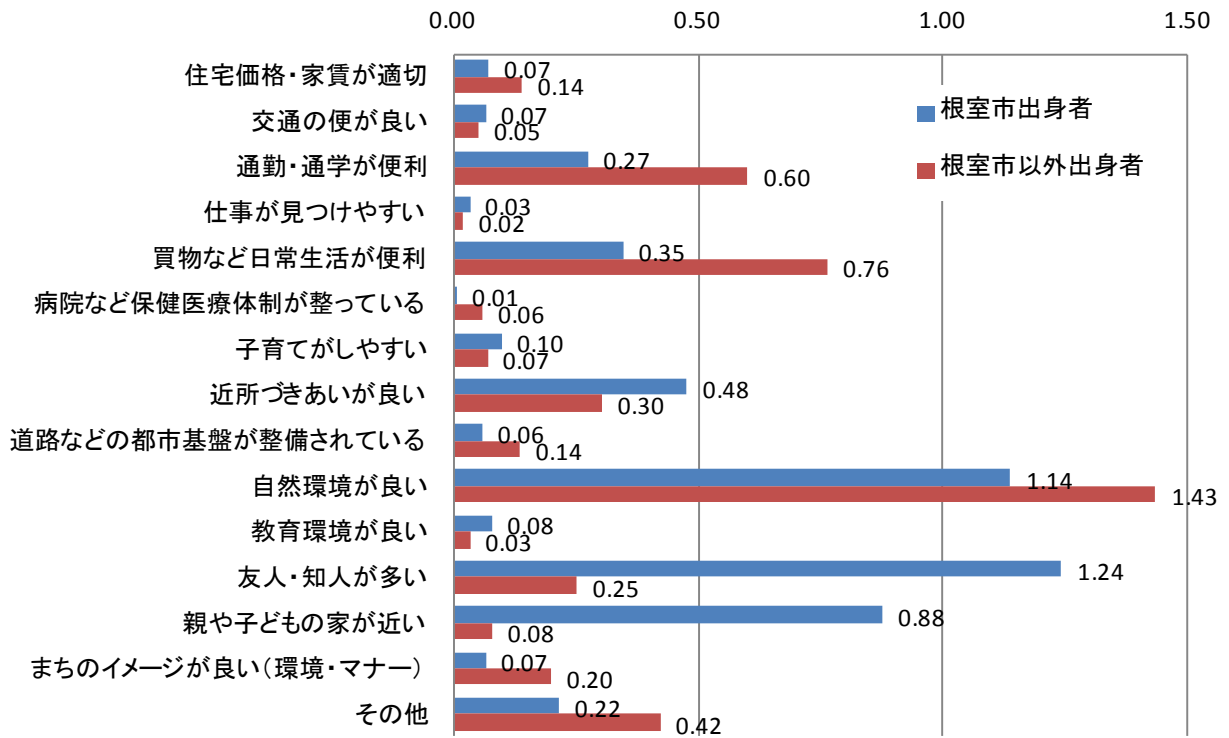
根室市の住みよさに対する評価 (根室市出身者)



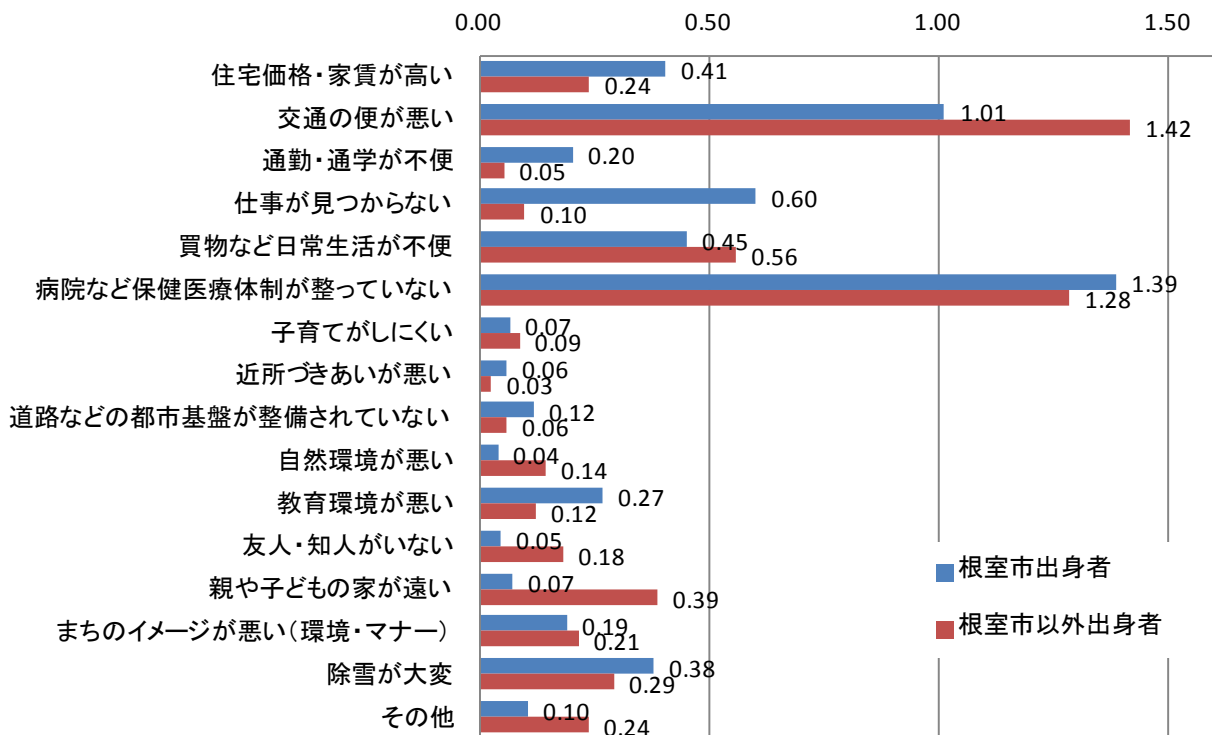
根室市の住みよさに対する評価 (根室市以外出身者)



根室市の住みやすかったところ(平均得点)(出身地別)

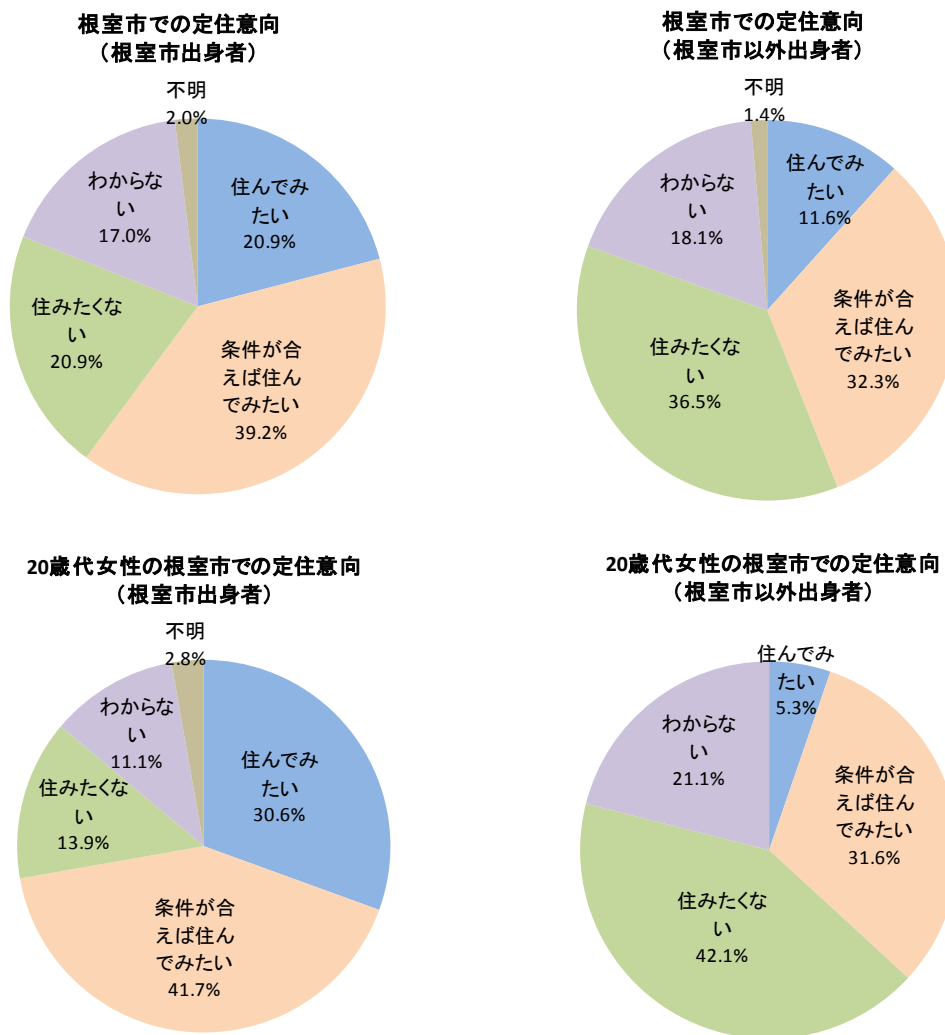


根室市の住みにくかったところ(平均得点)(出身地別)



(4) 根室市での帰住意向

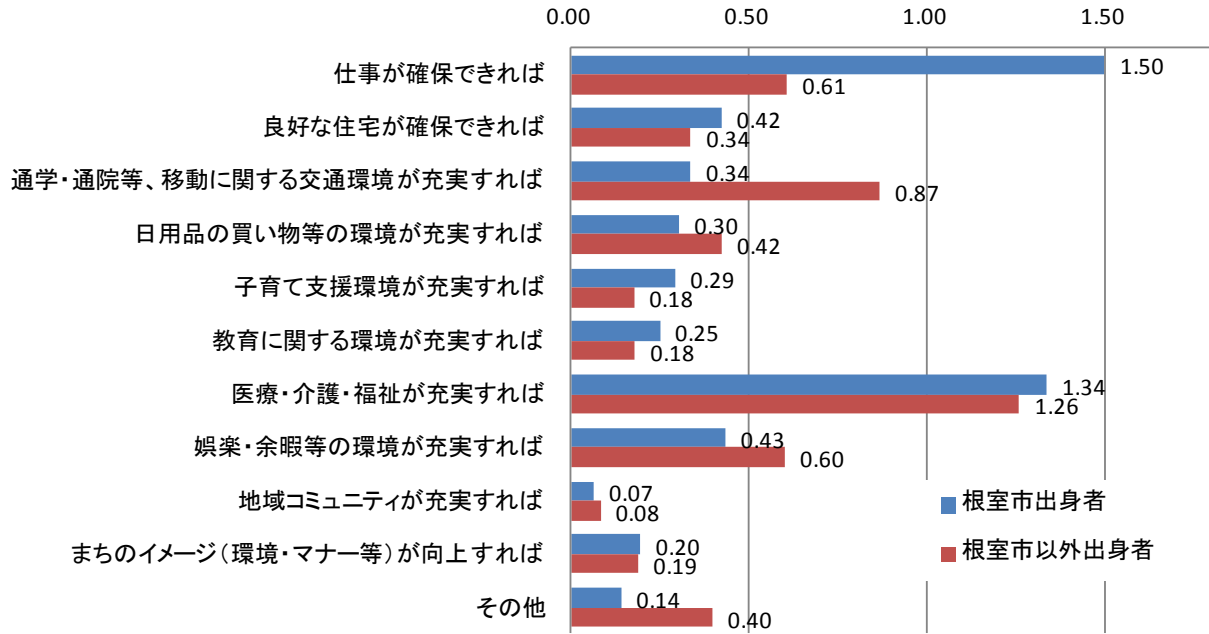
- ・根室市出身者では、「条件が合えば住んでみたい」を含めると、住んでみたいとの意向を持っている転出者の割合が60.1%を占めることに対し、根室市以外出身者では、43.9%となっている。
- ・なお、20歳代女性についてみると、根室市以外出身者では、住みたくないとする考え方が、根室市出身者では住んでみたいという考え方が、それぞれ全体よりも高くなっている。



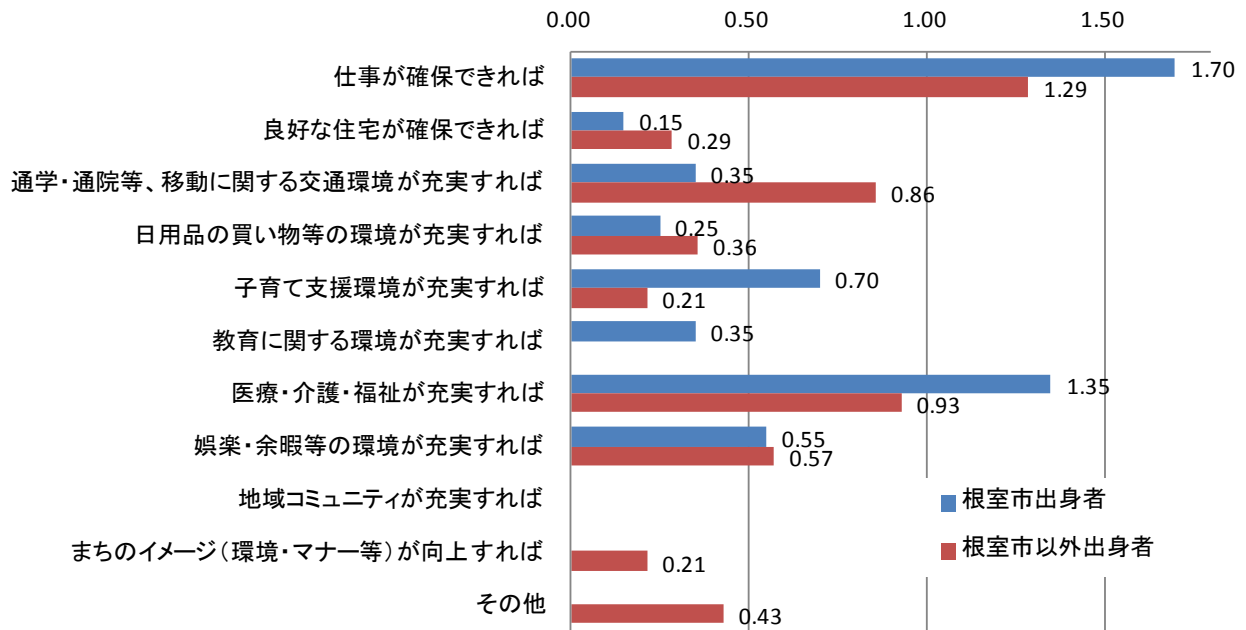
(5) 根室市に帰住したいと思えるための条件

- ・根室市出身者では「仕事が確保できれば」が最も大きく、次いで、「医療・介護・福祉が充実すれば」、「娯楽・余暇等の環境が充実すれば」となっており、仕事が有ることが重要な条件となっている。
- ・根室市以外出身者では、「医療・介護・福祉が充実すれば」が最も大きく、次いで、「通学・通院等、移動に関する環境が充実すれば」、「仕事が確保できれば」の順となっている。
- ・20歳代女性の考える条件をみると、根室市出身者及び根室市以外出身者とも「仕事が確保できれば」が最も大きく、次いで、「医療・介護・福祉が充実すれば」となっている。

根室市の住んでみたいと思えるための条件(平均得点)



20歳代女性の根室市の住んでみたいと思えるための条件(平均得点)



4. 意識調査結果からみた根室市創生総合戦略策定に向けた課題と方向性

基本目標：住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守る

(若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる)

	意識調査の課題	対応に向けた検討課題
婚姻率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婚姻相手がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出会いの場イベントの創出 ・ 現在、農協で実施している「都市女性とのふれあい事業」などの拡大展開支援 ・ 観光客等の誘致等を図り、人的交流機会の拡大を図る
出生率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根室市内で出産ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で出産できる体制の構築 (医師の誘致、医療スタッフの充実等) ・ 市外でも安心して出産できる体制の構築 (緊急時の搬送体制、通院のための交通費等手当の充実、安心して出産するための対応マニュアルの作成等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産費用が不安 ・ 出産のために仕事をやめなくてはいけない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産に対する経済支援の充実 ・ 産前・産後休暇に対する職場の理解向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事と育児の両立が難しい ・ 育児への体力的、精神的負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場の理解の向上 (育児休暇等) ・ 託児所の整備 ・ 育児相談体制の整備 ・ 住民間での相互協力体制構築
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療環境が不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児科診療の充実 (医師数、スタッフ数、診療時間等)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して子どもが遊べる場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気象に左右されずに安心して遊べる室内施設の整備
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費、育児費、教育費等の経済的負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児手当、児童手当等の見直し、充実 ・ 第2子以上の子どもに対する支援の充実
多様な教育の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校卒業後の進学先がない ・ 自由回答において子どもの教育水準確保のための転出例あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市外からの入学者を含めた小中一貫教育の場の創出 (自然、ロシア人との交流など独自カリキュラムの創出による魅力ある教育の創出) ・ 独自の高等教育機関のあり方の検討

**基本目標：住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込む
(安定した雇用、新しい人の流れをつくる)**

	意識調査の課題	対応に向けた検討課題（方向性の例示）
若者にとって魅力あるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、娯楽、余暇活動の場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口拡大を促進し、商業、サービス市場の拡大を図る。 ・根室市の魅力（自然、食、歴史、祭り・イベント、北方四島等）の積極的PRを推進し、交流人口の拡大を図る。 ・ロシア人との交流促進、外国人を対象としたボードウォッチング観光の拡大展開による交流時人口の拡大を図る。
雇用の確保、創出（地元雇用、Uターンの促進）	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後の就職先として根室市内に希望する職場がない。 ・高校卒業後の就職先として、漁業への関心が高いものの、ロシア200海里内でのサケマス漁の禁止など漁業環境の厳しさが増す。 ・進学や就職で根室市を転出した若者の多くは、仕事があれば戻って来たいとの意向（親の介護等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市内企業における就労環境、雇用条件等の見直し、充実。 ・若者による新規企業化支援 ・根室市の新鮮な食材のPRと新たな販売戦略の構築等による新規企業化の創出 ・女性の釣り指向の高まりに着目した新たな事業の創出 ・新たな漁業展開の検討（養殖事業等新たな沿岸漁業の可能性検討他） ・女子の医療・福祉分野への関心が高いことから、根室市内の医療・福祉施設における受入体制の見直し、充実。 ・交流人口の拡大による産業の創出（再掲）
Iターンの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者にとって根室市の住みよさ、定住意向に対する評価が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな根室市の魅力を創出（例えば、朝活、夕活を活かせる多様なライフスタイルを実現できるまちなど） ・長期滞在者受入のPR、促進（体験生活、長期滞在観光、避暑等） ・雇用の確保・創出（再掲）